



始







訂改

民

法  
要  
義

大正  
4. 6. 10  
內交



法 帝

情 志

印

揚虎主卷





## 序

現今社會益々奎運に趨くに隨ひ人事愈々複雑となり、法律上の關係も亦益々滋く、法律の適用亦隨て繁多なるに至れり、特に普通法たる民法法典のみを以てするも、其條項一千百餘條の多きに達す、寔に斯法の專攻者と雖も釋明會得に困しむ所なり。

曩年民法法典の制定せられし以來其法文を釋明し、其精神を叙述したる斯法の解釋書は、坊間其數實に夥しと雖も、多くは法理の闡明を主とし、或は徒らに學理的の攻究に偏し、單に斯學の専門家に資せん爲めのものにあらざれば、即ち簡約に過ぎて其精神を捕捉するに難く、動もすれば文字拮屈、讀む者をして徒らに力を通讀に盡さしむ、而して一般の國民に推薦すべき、斯法の解釋書に至つては、未だ殆んどなし、余輩常に以て之を憾みとなす。



頃日梶康郎氏著はす所の訂民法要義を閲するに、文章平易、意義周匝、叙述の方法、講説の體裁、總て先人の足跡を索ねず、詳細なる問題索引を附し、以て實務に資したる如き、能く余の常に思ふ所と合す、唯々語辭往々卑近に流れ、講述稍々煩瑣に渉るの傾きなきを保せずと雖も、是れ著者が此の書の汎く、世人の通讀に適せん事を欲したる結果なりとせば、又以て其微瑾を償ふに足らん歟、此書一たび出づ、其法律思想の普及に貢獻する處のもの、惟ふに尠なからざるべきを信ず、是れ余が敢て著者の依囑を辭せず、一序を卷頭に寄する所以也。

法學博士 岡村輝彦識

### 自序

題して訂民法要義と謂ふ、蓋し梅博士の名著『民法要義』に擬して更に通俗的に更に實用的に民法各正條を解説せしものなり。其説明は成る可く平易簡明を旨として各正條の立法精神より實際問題に及ぼし一々實例を擧げて法意の適用を示し且つ有要なる書式文例と適切なる参考判例とを掲げ、目次として詳細なる問題索引を設け當該事件の權義關係の所在を明確ならしむに便せり。此書尠くも一般世人をして民法法理の大態を知らしめ日常法律問題の解決に利便たることを得ば即ち著者の望み足焉。

(著者識)



凡 例

- 一 本書の目的は主として一般世人の實用利便に供せんが爲め講述したるものなれども亦法律研究の道途にある者の爲に好個の参考書たらんことを期せり。
- 一 本書は目次として詳細なる問題索引を設けたれば事あるに當り一々當該問題に就て之を索引すべし。
- 一 参照の下に一々關係條文と對照條文とを掲げたれば一條文の説明を見るの外更に尙ほ參照條文の説明を見て權利義務の關係を明にすべし。
- 一 本書は専ら一般世人の爲に民法々理を容易に知得せしめんことを目的として講述したるものなるが故に更に斯法々理の蘊奥を闡明せんと欲する者は特に専門的研究を要するものと知るべし。



民法要義 (總目次)

緒論

(索引頁數) (本文頁數)  
..... (一) ..... (一)

第一編 總則

..... (二) ..... (三五)

第一章 人

..... (二) ..... (三六)

第二章 法人

..... (六) ..... (八一)

第三章 物

..... (一一) ..... (一三二)

第四章 法律行爲

..... (一一) ..... (一四三)

第一節 總則

..... (一三) ..... (一四九)

第二節 意思表示

..... (一四) ..... (一五七)

第三節 代理

..... (一六) ..... (一七七)

第四節 無效及ひ取消

..... (一八) ..... (二〇三)

(總目次)



第五節 條件及び期限……………(一九)……………(二四)

第五章 期間……………(二二)……………(三三)

第六章 時效……………(三二)……………(三八)

**第一編 物權**……………(二六)……………(二七)

第一章 總則……………(二六)……………(二七)

第二章 占有權……………(二七)……………(二八)

第三章 所有權……………(三〇)……………(三五)

第四章 地上權……………(三七)……………(三八)

第五章 永小作權……………(三九)……………(三八)

第六章 地役權……………(四〇)……………(四五)

第七章 留置權……………(四一)……………(四四)

第八章 先取特權……………(四二)……………(四四)

第九章 質權……………(四七)……………(四八)

第十章 抵當權……………(五一)……………(五六)

**第二編 債權**……………(五五)……………(五九)

第一章 總則……………(五五)……………(五九)

第一節 債權の目的……………(五五)……………(五九)

第二節 債權の效力……………(五七)……………(六九)

第三節 多數當事者の債權(不可分債務、連帶債務、保證債務)……………(六〇)……………(六七)

第四節 債權の讓渡……………(六六)……………(七三)

第五節 債權の消滅……………(六七)……………(七三)

第二章 契約……………(七三)……………(八三)

第一節 總則(契約の成立、效力、解除)……………(七四)……………(八五)

第二節 贈與……………(七六)……………(九〇)



四

第三節	賣買	.....	(七八)	.....	(九一六)
第四節	交換	.....	(八四)	.....	(九九四)
第五節	消費貸借	.....	(八四)	.....	(九九七)
第六節	使用貸借	.....	(八五)	.....	(一〇一三)
第七節	賃貸借	.....	(八六)	.....	(一〇二六)
第八節	雇傭	.....	(八九)	.....	(一〇八九)
第九節	請負	.....	(九一)	.....	(一一二五)
第十節	委任	.....	(九二)	.....	(一一三七)
第十一節	寄託	.....	(九四)	.....	(一一五七)
第十二節	組合	.....	(九六)	.....	(一二六九)
第十三節	終身定期金	.....	(九九)	.....	(一二〇一)
第十四節	和解	.....	(九九)	.....	(一二〇七)
第三章	事務管理	.....	(一〇〇)	.....	(一二一一)

第四章	不當利得	.....	(一〇一)	.....	(一二三二)
第五章	不法行爲	.....	(一〇三)	.....	(一二四五)

**第四編 親族**.....(一〇七).....(一三〇四)

第一章	總則(親族の範圍、親等の計算)	.....	(一〇七)	.....	(一三〇六)
第二章	戸主及び家族	.....	(一〇八)	.....	(一三二七)
第三章	婚姻	.....	(一一二)	.....	(一三五六)
第四章	親子	.....	(一二〇)	.....	(一四三二)
第五章	親權	.....	(一二八)	.....	(一四九五)
第六章	後見	.....	(一三一)	.....	(一五三〇)
第七章	親族會	.....	(一三七)	.....	(一五八五)
第八章	扶養の義務	.....	(一三八)	.....	(一六〇九)

**第五編 相續**.....(一四〇).....(一六二五)

(總目次)



第一章	家督相続	.....	(一四〇)	.....	(一六二八)
第二章	遺産相続	.....	(一四五)	.....	(一六八三)
第三章	相続の承認及びひ拋棄	.....	(一四九)	.....	(一七八)
第四章	財産の分離	.....	(一五二)	.....	(一七五七)
第五章	相続の曠缺	.....	(一五三)	.....	(一七七五)
第六章	遺言	.....	(一五三)	.....	(一七八五)
第七章	遺留分	.....	(一六二)	.....	(一九〇五)

(問題索引)

緒論

◎法律は何故に研究する必要ありや	.....	二
○自己の知らざるに犯罪人となることありや	.....	四
○自己の知らざるに権利の消滅することありや	.....	五
◎法律は何故に必要なりや	.....	七
◎法律とは如何なるものなるや	.....	九
○法律上の制裁、社會上の制裁、良心の制裁とは何ぞ	.....	〇
○法律と道徳との區別を問ふ	.....	一
○法律と命令との區別を問ふ	.....	一
◎法律の種別を問ふ	.....	三
○強行法と任意法との區別を問ふ	.....	三



二

- 公法と私法との區別を問ふ……………一四
- 貸金を催促するも返さざる時は腕力に訴ひ其家財を持ち歸ることを得るや……………一五
- 妻は夫の腕力に服従せざるべからざるや……………一六
- 普通法と特別法との區別を問ふ……………一八
- 主法と助法との區別を問ふ……………二〇
- 成文法と不文法(慣習法)との區別を問ふ……………二〇
- 權利の起源及び性質を問ふ……………二四
- 天賦の自由とは何ぞ……………二四
- 公權私權との區別を問ふ……………二七
- 私權の種別を問ふ……………二九
- 民法の性質及び規定を概説すべし……………三一

## 第一編 總則

### 第一章 人

#### 第一節 私權の享有

- ◎ 人とは何ぞ……………三六
- ◎ 權利能力、行爲能力とは何ぞ……………三七
- ◎ 人は何時より人の人たる權利能力を得るや……………三八
  - 胎兒は權利なきか……………三八
  - 人が死亡するときは生前の權利義務の關係は如何に成るべきものなるや……………三九
  - ◎ 外國人の有すること能はざる私權は何ぞ……………三九
    - 永代借地權とは何ぞ……………四〇

#### 第二節 能力

- ◎ 無能力者とは如何なる者を云ふや……………四一
- ◎ 未成年者とは何ぞ……………四二
  - 法定代理人とは何ぞ……………四三
    - 如何なる行爲は未成年者單獨に爲すことを得るや……………四三



四

- 如何なる財産は未成年者勝手に費消することを得るや……………(第五條)……………四三
- 未成年者は營業を自由になすことを得るや……………(第六條)……………四五
- 禁治産は何故に宣告する必要ありや……………(第七條)……………四七
- 後見人は何の爲めに必要なりや……………(第八條)……………四八
- 禁治産者の獨斷行爲は無効なりや……………(第九條)……………四八
- 禁治産者の精神全く快復したるときは禁治産者に非すと云ふことを得るや……………(第一〇條)……………四九
- 如何なる場合に準禁治産の宣告をなすの必要ありや……………(第一一條)……………四九
- 準禁治産者が保佐人の同意を要するは如何なる行爲なりや……………(第一二條)……………五〇
- 準禁治産取消宣告の請求は何人が爲すべきものなるや……………(第一三條)……………五二
- 妻の如何なる行爲は夫の許可を要するものなるや……………(第一四條)……………五二
- 夫が妻に營業を許せる場合に妻は其營業に關し如何なる能力ありや……………(第一五條)……………五三
- 夫は妻に與へたる許可を取消又は之を制限することを得るや……………(第一六條)……………五四

- 如何なる場合に妻が夫の許可を受けず自分勝手に何事をも爲し得るや……………(第一七條)……………五六
- 未成年者の夫が妻の行爲を許可するには法定代理人の同意を要するや……………(第一八條)……………五七
- 無能力者と取引を爲したる相手方は如何なる催告権ありや……………(第一九條)……………五七
- 無能力者が其能力者たることを信ぜしむるため詐術を用ひたるときに於ても其行爲を取消すことを得るや……………(第二〇條)……………六二

(参考判例) 戸籍吏の證明書—虚偽の陳述—禁治産者の詐術

## 第二節 住所

- 住所の意義種類及び効果を説明すべし……………(第二一條)……………六四
- 住所と居所、現在地との區別を問ふ……………(第二二條)……………六五
- 住所の知れざるときは何處を住所と看做すべきや……………(第二三條)……………六六
- 日本に住所を有せざる者は何處を以て住所と看做さるゝや……………(第二四條)……………六七
- 假住所とは何ぞ……………(第二四條)……………六七



## 第四節 失踪

- 失踪の宣告は何故に必要なりや……………六八
- 不在者と失踪者との差異を問ふ……………六八
- 不在者の財産に付き管理する者なきときは如何にすべきや……………(第二五條)……………七〇
- 不在者が豫じめ定めたる管理人を改任することを得るや……………(第二六條)……………七一
- 財産管理人は其財産管理に付如何なる義務ありや……………(第二七條)……………七二
- 権限の定めなき財産管理人は如何なる権限を有するや……………(第二八條)……………七四
- 財産管理人は相當の報酬を請求する権利ありや……………(第二九條)……………七六
- 如何なる場合に失踪の宣告を爲すことを得べきや……………(第三〇條)……………七七
- 失踪の宣告を受けたる者は何時より死亡したる者と看做さるゝや……………(第三一條)……………七八
- 自分の知らざる間に失踪の宣告を受けたる者は如何にすべきや……………(第三二條)……………七九

## 第二章 法人

### 第一節 法人の設立

- 法人とは何ぞ……………八一
- 法人の種類を問ふ……………八一
- 法人の成立には必ず法律の規定に依るものなるや……………(第三三條)……………八四
- 如何なる法人は官廳の許可を要するや……………(第三四條)……………八五
- 民事會社にも商事會社の規定を適用せらるゝものなるや……………(第三五條)……………八六
- 外國法人も我國に於て法人として認むべきものなるや……………(第三六條)……………八六
- 社團法人の定款には如何なる事項を記載すべきものなるや……………(第三七條)……………八八
- 定款の變更も亦主務官廳の認許を受くべきものなるや……………(第三八條)……………八九
- 財團法人の規則には如何なる事項を記載すべきものなるや……………(第三九條)……………八九
- 寄附と寄附行爲との區別を問ふ……………九〇
- 寄附行爲の缺點は何人が之を定むべきや……………(第四〇條)……………九〇
- 寄附行爲に如何なる規定が適用せらるゝや……………(第四一條)……………九一
- 寄附財産は何時より法人の財産となるべきや……………(第四二條)……………九二



- ◎法人は如何なる能力(権利義務)ありや……………(第四三條)……………九三
- ◎法人の損害賠償責任を問ふ……………(第四四條)……………九四
- ◎法人の設立は之を登記したる後に非ざれば他人に對抗することを  
得ざるや……………(第四五條)……………九六
- 其登記事項を問ふ……………(第四六條)……………九七
- 官廳の許可を要すべき事項の登記は何時に爲すべきものなるや……………(第四七條)……………九八
- 事務所を移轉したるときも亦登記を要するや……………(第四八條)……………九九
- 外國法人が日本に事務所を設くる場合に於ても亦登記を爲すことを  
要するや……………(第四九條)……………一〇〇
- ◎數個の事務所ある場合に何處を以て其法人の住所と看做すべきや……………(第五〇條)……………一〇一
- ◎財産目録社員名簿は如何なるときに於て調製すべきものなるや……………(第五一條)……………一〇一

### 第二節 法人の管理

- ◎法人は必ず理事を置くべきものなるや……………(第五二條)……………一〇三
- ◎理事は如何なる權限ありや……………(第五三條)……………一〇四
- 理事の權限に制限を加ふることを得るや……………(第五四條)……………一〇五
- 理事は獨斷にて復代理人を設くることを得るや……………(第五五條)……………一〇六
- 理事の缺けたる場合に假理事を選任することを得るや……………(第五六條)……………一〇六
- 如何なる場合に特別代理人を選任する必要ありや……………(第五七條)……………一〇七
- ◎監事は何の爲に之を設くるや……………(第五八條)……………一〇八
- 監事の職務を問ふ……………(第五九條)……………一〇八
- ◎理事は毎年一回は必ず通常總會を招集することを要するや……………(第六〇條)……………一〇九
- 社員より請求せられたるときは理事は必ず臨時總會を招集すべきの  
なるや……………(第六一條)……………一一〇
- 總會を招集する方法を問ふ……………(第六二條)……………一一一
- 總會は如何なる權限を有するや……………(第六三條)……………一一一
- 總會に於ては如何なる事項に付き決議を爲すことを得るや……………(第六四條)……………一二二
- ◎各社員の表決權は平等なるものなるや、出席せざる者も表決權を有す  
るや……………(第六五條)……………一二三
- ◎如何なる場合に社員は表決權なきや……………(第六六條)……………一二四



◎主務官廳は何時にても職權を以て法人の業務及び財産狀況を検査することを得べきか……………(第六七條)……………一一四

### 第三節 法人の解散

- ◎法人は如何なる場合に解散するや……………(第六八條)……………一一六
- ◎解散の議決を爲すには何人以上の承諾を要するや……………(第六九條)……………一一七
- ◎如何なる場合に法人の破産宣告の申渡を爲すべきものなるや……………(第七〇條)……………一一八
- ◎主務官廳は如何なる場合に法人の設立許可を取消すべきものなるや……………(第七一條)……………一一九
- ◎解散したる法人の財産は如何に處分するものなるや……………(第七二條)……………一一九
- ◎解散したる法人も清算終了迄は尙ほ存続するものと看做さるゝや……………(第七三條)……………一二一
- ◎如何なる者が清算人となるべきものなるや……………(第七四條)……………一二一
- ◎裁判所に於て清算人を選任する場合を問ふ……………(第七五條)……………一二二
- ◎職權を以て清算人を解任する場合を問ふ……………(第七六條)……………一二三

- 清算人は清算前に如何なる登記及び届出を爲すべきものなるや……………(第七七條)……………一二三
- 清算人は如何なる職務を行ふものなるや……………(第七八條)……………一二四
- 清算中債務辨濟の手續を問ふ……………(第七九條)……………一二五
- 清算期間後に申出たる債權者は如何なる財産に對し其權利を主張することを得べきや……………(第八〇條)……………一二六
- 清算人は如何なる場合に法人の破産宣告を請求すべきものなるや……………(第八一條)……………一二七
- 法人の解散及び清算は裁判所の監督に屬するものなるや……………(第八二條)……………一二八
- 清算が終了したるときは主務官廳に届出を爲すものなるや……………(第八三條)……………一二九

### 第四節 罰則

◎法人の理事監事及び清算に關する罰則を問ふ……………(第八四條)……………一三〇

### 第三章 物

◎權利の目的とは何ぞ……………(問題索引)……………一三二

(問題索引) 總則編 物



- ◎實力關係と權利關係との差別を説明すべし……………一三二
- ◎物の定義を説明すべし……………一三三
- ◎物の種別を問ふ……………一三四
- ◎物とは何ぞ……………(第八五條)……………一三六
- ◎動産と不動産との區別及び其法律關係を問ふ……………(第八六條)……………一三六
- (參考判例) 立木の賣買―移動し得べき定著物……………(第八七條)……………一三八
- 主物從物の法律關係を問ふ……………(參考判例) 造作疊建具と抵當權の實行―土地と立木……………(第八八條)……………一四〇
- 天然の果實と法定の果實との區別を問ふ……………(第八九條)……………一四一
- 果實は如何なる者の收得に歸すべきものなるや……………(參考判例) 小作物又は小作金―生立中の稻の賣買―利子の計算……………一四一

### 第四章 法律行為

- ◎私權の得喪とは何ぞ……………一四一
- ◎法律事實とは何ぞ……………一四四

- ◎法律行為とは何ぞ……………一四五
- ◎法律行為の種別を擧げよ……………一四六
- ◎法律行為の要素と常素と偶素との別……………一四七

### 第一節 總則

- ◎公の秩序又は善良の風俗に反する事項を目的とする法律行為は無効なるや……………(第九〇條)……………一五〇
- (參考判例) 親權の拋棄絶―對永久讓渡の禁止―實母同居と違約金―結婚禁止の約束―私通の手切金―離婚の約束―娼妓營業―藝娼妓營業と金員借用―姦通と謝罪金―定期米取引と手仕舞―野合の夫婦と同居義務―内縁の夫婦と金額支給―無効の射倖契約離―婚の同居生活……………(第九一條)……………一五四
- ◎當事者の意思を以て法律の規定に反する契約を取結ぶことを得るや……………(第九二條)……………一五五
- 如何なる慣習は法律上有效なるや……………(參考判例) 東京市の不動産賃料の増加―借地人と新所有者との關係……………(問題索引) 總則編 法律行為……………一三三



### 第二節 意思表示

- ◎ 意思表示の要件を問ふ……………一五七
- ◎ 吾人の意思は如何にして之を人に通ずることを得るや……………一五八
- ◎ 意思と表示と一致せざる場合即ち真意に非ざる取引契約は如何なる效力ありや……………(第九三條)……………一五九
- ◎ 心裡留保とは何ぞ……………(第九三條)……………一六〇
- ◎ 人の冗談を信じて種々の計劃を立てて之が爲め多大なる損失を招きたる者は其冗談を云ひたる者に對し損害賠償を要求することを得るや……………一六〇
- ◎ 甲者其住宅を賣る真意なしと雖も金錢を得んがために乙者に之を賣らんと申込み乙者は之を信じ賣買契約を結び代金を拂渡したり此場合に甲者は乙者に對ひ實は金錢を借用する積りにて住宅を賣るの意思にあらすと主張することを得るや……………一六一
- ◎ 虚偽の意思表示の效力如何……………(第九四條)……………一六三

- 甲者縣會議員たらんと欲すれども資産なきを以て依頼して虚偽の所有地を買受けたる其後乙者は返還を請求せり此場合に甲者は自己の所有なることを主張するを得るや……………一六四
- (参考判例) 假裝の賣買―名義のみの所有權移轉―神社代表者の私利―賣買名義の抵當―惡意の不動産買入―東京市より土地借受……………一六四
- ◎ 錯誤とは何ぞ、重大なる過失とは何ぞ……………(第九五條)……………一六七
- 佐久間象山先生の書なりと信じ買求めたるに其後偽書なることを見出したるときは其契約は取消すことを得べきや……………一六八
- ◎ 詐欺に基く行爲は之を取消すことを得るや……………(第九六條)……………一六九
- 商人が鍍金の指輪を買主が純金なるかと尋ねたるに之れに答へず買主が純金なりと信じて買はんとするを知り其鍍金なるを知らぬ顔して賣りたる行爲は詐欺なりや……………一六九
- ◎ 強迫とは何ぞ手を捉へて捺印せしむる行爲は強迫なるや……………一七二
- 詐欺に逢ひたるものは其行爲を取消すのみならず損害賠償を請求する權利ありや……………一七三



- (参考判例) 意思自由の喪失—詐欺の相手方—強制執行の通告 (第九七條)……………一七四
- 對話間の意思表示は何時より效力を生ずるや……………(第九七條)……………一七四
- 地を隔てたる者の間の意思表示は何時より效力を生ずるや……………一七五
- 相手方が未成年者又は禁治産者なるときは之に對し爲したる意思表示は如何なる效力あるや……………(第九八條)……………一七六

### 第三節 代理

- 代理人が本人の爲めなることを示したる行爲は直接に本人に對して效力ありや……………(第九九條)……………一七九
- 代理人が本人のためなることを示さざるときは何人の爲めになしたるものと看做すべきや……………(第一〇〇條)……………一八〇
- 代理人の爲したる取引行爲は本人の意思如何に拘らず代理人の意思の如何に依り之を定むるものなりや……………(第一〇一條)……………一八一
- 無能力者を代理人と爲すことを得るや……………(第一〇二條)……………一八三
- 権限の定めなき代理人は如何なる行爲を爲すことを得るや……………(第一〇三條)……………一八四

- 代理人は随意に復代理人を選定することを得るや……………(第一〇四條)……………一八五
- 代理人が復代理人を選任したるときは本に人對し如何なる責任を有するや……………(第一〇五條)……………一八六
- 法定代理人は自己の責任を以て復代理人を選任することを得るや(第一〇六條)……………一八七
- 復代理人は如何なる権利義務を有するや……………(第一〇七條)……………一八八
- 代理を許さざる場合如何……………(第一〇八條)……………一八九
- 他人に對し代理權を與へたることを通知したるときは如何なる責任を負ふや……………(第一〇九條)……………一九〇
- 代理人が其權限外の行爲を爲したる場合に於ける責任を問ふ……………(第一一〇條)……………一九一
- 如何なる場合に代理人の代理權を消滅するや……………(第一一一條)……………一九二
- 代理權の消滅を知らざる者に對しても代理權の消滅を以て對抗することを得るや……………(第一一二條)……………一九三
- 代理人に非ざる者が代理人と稱して爲したる契約は如何なる效力ありや……………(第一一三條)……………一九五
- 右の場合に於て相手方は本人に對し其契約を認むるや否やを催告



- 尙右の場合に於て相手方は其契約の取消を主張することを得るや……………(第一一四條)……………一九七
- 本人が其契約を認めたる時は其効力は何時より生ずべきか……………(第一一六條)……………一九九
- 自稱代理人は相手方に對して如何なる責任を有するや……………(第一一七條)……………二〇〇
- 代理權なき者が他人の代理と稱し債務を辨償し若くは催告を爲し又は契約の追認などを爲したるときは其の効力如何……………(第一一八條)……………二〇二

### 第四節 無効及び取消

- 無効の意義を説明せよ……………二〇三
- 取消の意義を説明せよ……………二〇四
- 無効と取消の差異を擧げよ……………二〇五
- 無効の法律行為は追認に依つて其効力を生ずべきや……………(第一一九條)……………二〇六
- 何人が法律行為の取消權を有するや……………(第一二〇條)……………二〇七
- 法律行為が取消されたるときは如何なる效果を生ずるや……………(第一二一條)……………二〇八

取消し得べき行為を追認したるときは其行為は初より有效なるもの

- と看做さるゝや……………(第一二二條)……………二〇九
- 取消及追認は如何なる方法に依り之れを爲すべきものなるや……………(第一二三條)……………一一〇
- 追認を爲すには如何なる要件に依るべきや……………(第一二四條)……………一一一
- 如何なる場合に追認を爲したるものと看做さるゝや……………(第一二五條)……………一一二
- 取消權は何年之を行はざるときは消滅するや……………(第一二六條)……………一一三

### 第五節 條件及び期限

- 條件とは何ぞ……………二一四
- 條件には如何なる種別ありや……………二一五
- 期限とは何ぞ……………二一六
- 期限に付如何なる種別あるや……………二一七
- 停止條件附法律行為は何時より其効力を生ずるや……………(第一二七條)……………二一九
- 解除條件附法律行為は何時より其効力を消滅するものなりや……………二二〇
- 甲者乙者に對し或事項起りしなれば其馬を貸さんことを約したる



- 後甲者其馬を人に賣りたるときは乙者は或事項起りたる後甲者に對し如何なる權利ありや……………(第一二八條)……………二二二
- 船着港すれば或物を賣渡すべしとの契約に依り權利を取得したる者は其權利を他へ讓渡すことを得るや……………(第一二九條)……………二二二
- 甲者乙者に對し君が若し僕の土地を千圓に賣り呉れたらんには一割を與ふべしと約したる後乙者の周旋にて買手を得たり然るに甲者は周旋料を拂はざらんが爲め故意に乙者の手を経ず直接に買手と賣買を結了せり此場合に乙者は尙甲者に對し周旋料を請求する權利ありや……………(第一三〇條)……………二二三
- 船着港すれば何々の物品を賣渡すべしといふ條件附の契約を爲す當時に既に其船が着港して居れば其法律關係は如何になるべきや……………(第一三一條)……………二二四
- 不法の條件例へば人を殺せば姦通すればと云ふ如き條件附の契約は法律上無効なるや……………(第一三二條)……………二二六
- 不能の條件例へば「天に昇れば又は人を殺して無罪なることを得ば」と云ふ如き條件を以て爲したる契約は法律上無効なるや……………(第一三三條)……………二二八

- 隨意條件例へば「予の欲する時に汝に金百圓を與ふべし」といふ如き契約は法律上無効なるや……………(第一三四條)……………二二九
- 期限附の法律行爲の效果を説明すべし、始期終期とは何ぞ……………(第一三五條)……………二三〇
- 期限前に返済するも差支なきか此場合に利息附のものなるときは其期限迄の利息を支拂はざるべからざるや……………(第一三六條)……………二三一
- 如何なる場合に債務者は期限の利益を主張する事を得ざるか……………(第一三七條)……………二三一

### 第五章 期間

- 期間の定計算法を説明すべし……………(第一三八條)……………二三四
- 時を以て期間を定めるときは如何に計算するものなるや……………(第一三九條)……………二三四
- 日、週、月、年を以て定めたる期間の計算法を示すべし……………(第一四〇條)……………二三五
- 期間の満了とは何ぞ……………(第一四一條)……………二三六
- 期間の末日が大祭日、日曜日其他の休日に當るときは翌日を以て期間満了と爲すべきや……………(第一四二條)……………二三六
- 曆に従ふて計算するときは如何なる意義なるか……………(第一四三條)……………二三七



### 第六章 時効

- ◎時効の制度を説明すべし……………二三八
- ◎時効の性質及び種別を擧げて之を説明すべし……………二三九

#### 第一節 總則

- ◎時効の効力を説明すべし……………(第一四四條)……………二四一
- ◎時効の援用とは何ぞ……………(第一四五條)……………二四二
- ◎時効の利益を豫じめ拋棄することを約することを得るや……………(第一四六條)……………二四三
- ◎時効の中断とは何ぞ、如何なる場合に時効は中断すべきや……………(第一四七條)……………二四四  
(参考判例) 請求方法—居住不明の場合
- ◎時効の中断は如何なる効力ありや……………(第一四八條)……………二四六
- ◎訴の却下又は取下の場合には時効中断の効力なきか……………(第一四九條)……………二四七
- ◎支拂命令とは何ぞ、支拂命令は如何なる場合に時効中断の効力ありや……………(第一五〇條)……………二四七

#### (参考判例) 支拂命令と時効中断

- ◎和解は時効中断の効力ありや……………(第一五一條)……………二四九
- ◎破産手續の参加とは何ぞ、破産手續の参加は時効中断の効力ありや……………(第一五二條)……………二四九
- ◎催告は時効中断の効力ありや……………(第一五三條)……………二五〇
- ◎差押、假差押及び假處分は時効中断の効力ありや……………(第一五四條)……………二五〇
- ◎差押、假差押及び處分は相手方に通知するに非ざれば時効中断の効力なきか……………(第一五五條)……………二五一
- ◎時効中断の承認を爲すには如何なる能力権限あることを要すべきや……………(第一五六條)……………二五二
- ◎中断したる時効は何時より更に其進行を始むべきものなるか……………(第一五七條)……………二五四
- ◎未成年者及び禁治産者の爲めに生ずる時効の停止を説明すべし……………(第一五八條)……………二五五
- ◎無能力者と其財産管理人と及び夫婦間に生ずる時効の停止を説明すべし……………(第一五九條)……………二五六



○相續財産に對する時效の停止を説明すべし……………(第一六〇條)……………二五七  
 ◎天災其他避くべからざる事變の爲時效を中斷すること能はざるときは何日間其時效の完成を停止すべきや……………(第一六一條)……………二五八

### 第二節 取得時效

◎取得時效とは何ぞ……………二五九  
 ◎何年間他人の物を占有するときは自分の所有物と爲るべきや……………(第一六二條)……………二五九  
 ○泥棒も亦時效の利益を受くるや……………二六〇  
 ◎所有權以外の權利の取得時效は何ヶ年なるや……………(第一六三條)……………二六〇  
 ◎所有權の取得時效は如何なる場合に中斷するや……………(第一六四條)……………二六一  
 ◎所有權以外の取得時效は如何なる場合に中斷するや……………(第一六五條)……………二六一

### 第三節 消滅時效

◎消滅時效とは何ぞ……………二六一  
 ◎消滅時效は何時より進行するものなりや……………(第一六六條)……………二六二

◎債權又は債權所有權以外の財産權消滅時效は何年なるや……………(第一六七條)……………二六四  
 (参考判例) 遲延利息の消滅時效—賣掛代金の消滅時效……………(第一六八條)……………二六六  
 ◎定期金の債權は何年間之を行はざるときは消滅するや……………(第一六九條)……………二六七  
 ◎如何なる債權は五年間之を行はざるときは消滅するや……………(第一六九條)……………二六七  
 (参考判例) 本條の債權—利息及損害金……………  
 ◎醫師、產婆、藥劑師の債權、技師、棟梁、請負人の工事に關する債權は何年の時效に依り消滅するや……………(第一七〇條)……………二六八  
 ◎辯護士、公證人及び執達吏が受取りたる書類は何年間經過したるときは其責を免がるゝものなるや……………(第一七一條)……………二六九  
 ◎辯護士、公證人及び執達吏の職務に關する債權は何年間之を行はざるときは消滅するや……………(第一七二條)……………二七〇  
 ◎賣掛代金、仕事賃、校主又は師匠の授業料又は止宿費等は何年の時效に因り消滅するものなりや……………(第一七三條)……………二七一  
 ◎雇人の給料、勞働者、藝人の賃金、運送業者の運送賃、旅店の宿泊料、料理店の飲食料、娛樂場の席料等は何年間之を行はざるときは



消滅するものなるや……………

(第一七四條)……………二七二

## 第二編 物 權

◎物權とは何ぞ……………

二七三

◎物權は如何なる效力ありや……………

二七四

○優先權とは何ぞ……………

二七四

○追及權とは何ぞ……………

二七五

○對物訴訟とは何ぞ……………

二七五

◎物權の種別を擧げよ……………

二七五

### 第一章 總則

◎物權は契約に依り創設する事を得るや……………

(第一七五條)……………二七八

◎物權の設定移轉の效力は如何なる時より生ずるや……………

(第一七六條)……………二七八

◎土地建物等に關する物權(地上權、地役權等)の得喪又は變更は登記を爲すに非ざれば第三者(當事者以外の者)には效力なきか……………

(第一七七條)……………二八〇

(參考判例) 立木の買受と登記の效力—實際の評數と登記の評數  
假裝の公正證書と登記—新築家屋と所有權保存の登記—立木所有  
の爲め地上權設定登記—登記簿上不動産の所有各義人……………

◎動産物の讓渡は引渡を爲すに非ざれば第三者は效力なきか……………

(第一七八條)……………二八三

◎權利の混同埋没とは何ぞ……………

(第一七九條)……………二八四

### 第二章 占有權

◎占有權とは何ぞ……………

二八六

◎占有の種別如何……………

二八七

#### 第一節 占有權の取得

◎占有は何時に取得するや……………

(第一八〇條)……………二九〇

○代理人をして占有せしむることを得るや……………

(第一八一條)……………二九〇

○簡易引渡とは何ぞ……………

(第一八二條)……………二九一

○占有改定の場合とは何ぞ……………

(第一八三條)……………二九一

(問題索引) 物權編 總則 占有權……………



- 代理人に於て占有したる物を他人に受渡す場合に賣渡人が必ず買主に其物を一旦引渡を爲さざるべからざるや……………(第一八四條)……………二九二
- ◎權原の字義を問ふ……………(第一八五條)……………二九三
- ◎占有者(物の所持者)は如何なる推定を受くるや……………(第一八六條)……………二九四
- 自分の所有にあらざる物を多年所持したることを主張して所有權を得る事ありや……………(第一八七條)……………二九五

### 第二節 占有權の效力

- ◎假令事實上に於て盜品なるも法律上に於ては其盜品の證明せられざる限りは其所持品の所有物と認めらるゝは何故なるや……………(第一八八條)……………二九六
- ◎善意所持と惡意所持との異なるに因り果實取得を異にするや……………(第一八九條)……………二九七
- 他人の物を占有して利益を受けたる者は後日に於て如何なる義務を負ふものなるや……………(第一九〇條)……………二九八
- 所持者が過失に依り所持物を滅失し若くは毀損したるときは其所所有者に對して如何なる義務ありや……………(第一九一條)……………三〇一

- ◎占有の動産は何時より自己の所有となるや……………(第一九二條)……………三〇二
- ◎遺失物の持主は幾年限内其物を占有者より取戻し得るや……………(第一九三條)……………三〇三
- ◎遺失物又は盜品なるを知らずして買求めたる人に對して之を取戻すには如何なる義務ありや……………(第一九四條)……………三〇四
- ◎狐狸驚擾の如き動物の逃走せしを捕獲したるときは何時自己の所有となるや……………(第一九五條)……………三〇五
- ◎他人の物に對し必要なる費用又は有益なる費用を出したる時は其回復者に對し償還請求の權利ありや……………(第一九六條)……………三〇六
- ◎占有訴權とは何ぞ……………(第一九七條)……………三〇七
- 所持者は他人より其占有を妨害せられたる時は如何にすべきや(第一九八條)……………三〇八
- 占有保全の訴とは何ぞ……………(第一九九條)……………三一一
- 所持者が他人より所持物を妨害せらるゝ時如何にして豫防するや……………三一一
- 占有回復の訴とは何ぞ……………(第二〇〇條)……………三一四
- 所持者が他人に所持物を奪はれたる時は如何にして之を還し得る



や……………三二四

○占有の訴は何時まで提起することを得るや……………(第二〇一條)……………三二七

○占有の訴と本權の訴との關係とを問ふ……………(第二〇二條)……………三一九

### 第三節 占有權の消滅

○如何なる場合により占有權が消滅するや……………(第二〇三條)……………三二〇

○如何なる場合に代理人の占有權は消滅するや……………(第二〇四條)……………三二一

### 第四節 準占有

○準占有とは如何なることぞ……………(第二〇五條)……………三二二

(參考判例) 河川兩岸の村民と堤防築造―兩水の使用―上流下流の土地所有者の權利―河川の沿岸所有者の權利……………

## 第三章 所有權

○所有權とは如何なる權利なるや……………三二五

### 第一節 所有權の限界

○物を使用し収益し處分するとは如何なる事ぞ……………(第二〇六條)……………三二七

○土地を所有する者は上は蒼空の無究に及び下は地球の中心に達する迄も之を使用し収益し處分することを得べきものなるか……………(第二〇七條)……………三二八

○一棟の家屋を數人に分擔する場合如何……………(第二〇八條)……………三二九

○如何なる場合に隣地を使用する權利ありや……………(第二〇九條)……………三三〇

○如何なる場合に他人の土地を通行する權利ありや、借地とは何ぞ(第二一〇條)……………三三二

○隣地を通行するには如何なる場所を選ぶべき義務ありや……………(第二一一條)……………三三三

○通行權を有する者は通行地の損害に對して償金を拂ふことを要するや……………(第二一二條)……………三三四

○袋地の所有者は無償にて他人の土地を通行する權利ありや……………(第二一三條)……………三三五

○水流に就き相隣者は如何なる權利義務ありや、水が隣地より流れ來て迷惑するときは不服を言ふことを得るや……………(第二一四條)……………三三五

○流水が事變の爲めに低地に停滞したる時は如何……………(第二一五條)……………三三六



- 甲地に於て貯水引水排水の水事工作物が破壊し又は阻塞して乙地に損害を及ぼし又は及ぼさんとする時は乙地の者は甲地の者に對して如何なる権利ありや……………(第二一六條)……………三三七
- 流水の費用負擔に關し別段の慣習あるときは之に従ふべきものなるや……………(第二一七條)……………三三九
- 隣地の屋根より雨水が注入する時は隣者より不服を申立つることを得るや……………(第二一八條)……………三三九
- 流水の向岸が他人の所有なる場合に於て隨意に水路幅員を變更し得るや……………(第二一九條)……………三四〇
- 高地の所有者は自己の使用する水を排泄する爲めに低地へ水を通過せしむる権利ありや、此場合の義務如何……………(第二二〇條)……………三四一
- 土地所有者が水を通過せしむる爲め工作物を設けたるときは如何なる権利義務ありや……………(第二二一條)……………三四二
- 向岸の人が堰を設けたるときは之を使用することを得るや……………(第二二二條)……………三四二
- 相隣者の不服なるに拘はらず土地に境界を設くる權ありや……………(第二二三條)……………三四三

- 境界標を設けたるときに其費用の負擔は如何にすべきものなるや……………(第二二四條)……………三四四
- 圍障を設くる場合に雙方協議調はざる場合に於ても之を設くる權利ありや……………(第二二五條)……………三四五
- 圍障の設置及び保存費用は相隣者平當に分擔するものなるや……………(第二二六條)……………三四六
- 相隣者の一人は勝手に良好なる材料を以て圍障を設くることを得るや……………(第二二七條)……………三四六
- 圍障設置に關し慣習あるときは之に従ふべきものなるや……………(第二二八條)……………三四七
- 疆界線上に設けたる界標、圍障、牆壁及び溝渠は相隣者の共有に屬するものなるや……………(第二二九條)……………三四七
- 隣地の境界線上にある牆壁が自己の家屋の一部分に屬するものなるときに於ても亦隣地の者と互有すべきものなるや……………(第二三〇條)……………三四八
- 相隣者は共有の牆壁の高さを増すことを得るや……………(第二三一條)……………三四九
- 相隣者の一方が義務に違反したるとき他の一方は如何なる權利を有するや……………(第二三二條)……………三四九



- ◎隣地の竹林又は松林より我所有地に生じたる筍又は松茸の類は隨意に取ることを得るや……………(第二三三條)……………三五〇
- ◎建物建築に就き相隣者に如何なる権利義務ありや……………(第二三四條)……………三五一
- ◎建物の所有者は随意に窓又は椽側を設くることを得るや……………(第二三五條)……………三五三
- ◎境界線上の工事に付ての制限に關し慣習あるときは之に従ふべきものなるや……………(第二三六條)……………三五四
- ◎井戸、用水溜、肥料溜、池を穿つには如何なる制規に依るや……………(第二三七條)……………三五五
- ◎地面を掘る者の義務如何……………(第二三八條)……………三五六

### 第二節 所有權の取得

- ◎無主の動産は何人が所有するも自由なるや、無主の不動産は國家の所有なるや……………(第二三九條)……………三五七
- ◎遺失物は何年後拾得者の所有に屬するものなるや……………(第二四〇條)……………三五八
- ◎埋藏物發見者は何時所有權を取得するや……………(第二四一條)……………三五九
- ◎物の附合とは何ぞ、出水のため自己の田地に寄洲の出來たる時は其

寄洲は何人の所有となるや……………(第二四二條)……………三六一

○指環の裝飾の爲めに附けたる寶石と其所有者とを異にしたるとき之を毀損するにあらざれば分離することを得ざる場合に其物の所有者は何人なるや……………(第二四三條)……………三六二

○合成物が主従の關係分明ならざるときは之を共有するものなるや……………(第二四四條)……………三六三

○所有者を異にする米と麥と混合したるときは其所有權は何れにあリや……………(第二四五條)……………三六四

○加工物とは何ぞ、職工注文を誤り反物に金糸を以て繻をなしたるに所有者と協議調はず其反物に付争を生じたる時は何れの所有となるや……………(第二四六條)……………三六四

○田地を抵當に取りたる者其後出水の爲め其田地に寄洲を生じたるときは其寄洲に對しても亦抵當權を實行するものなるや……………(第二四七條)……………三六五

◎添附の爲め損失を蒙りたる者は如何なる權利ありや……………(第二四八條)……………三六六



### 第二節 共有

- ◎ 共有關係の生ずるは如何なる場合なるや……………三六七
- ◎ 持分とは何ぞ……………(第二四九條)……………三六八
- ◎ 契約にて持分を定めざる時は其持分は如何に定むべきや……………(第二五〇條)……………三六九
- ◎ 他の共有者の同意を得ず畑地を變じて宅地と爲す事を得るや……………(第二五一條)……………三七〇
- ◎ 共有物の管理及保存は何人が之を爲すべきものなるや……………(第二五二條)……………三七〇
- ◎ 共有者の一人負擔すべき費用を拂はざる時は他の共有者は之を如何にする權利ありや……………(第二五三條)……………三七一
- ◎ 共有者の一人が他人に其持分を譲り渡したるときは讓受人は如何の義務ありや……………(第二五四條)……………三七二
- ◎ 共有者の一人相續人なくして死亡するときは其持分は何人に歸するや……………(第二五五條)……………三七三
- ◎ 各共有者は何時にても所有物の分割を主張することを得るや……………(第二五六條)……………三七三
- ◎ 共有物の分割を請求することを得ざる場合を問ふ……………(第二五七條)……………三七四

- 分割の協議調はざるときは如何にすべきや……………(第二五八條)……………三七五
- 共有物より生じたる債權の爲めに債務を負ふ共有者に對する權利義務如何……………(第二五九條)……………三七六
- 共有物に利害關係を有するものは如何なる權利ありや……………(第二六〇條)……………三七六
- 共有物分割に關する共有者間の擔保責任を問ふ……………(第二六一條)……………三七七
- 分割の場合に於ける證書を保存する者は何人なるや……………(第二六二條)……………三七八
- 入會權とは如何なることなるや……………(第二六三條)……………三七九
- (参考判例) 入會權の性質—入會權の登記—入會權に關する契約……………
- ◎ 所有權以外の財産權の共有に關し如何なる法規が適用せらるゝや……………(第二六四條)……………三八一

### 第四章 地上權

- ◎ 地上權とは如何なる權利なりや……………三八一
- ◎ 地上權の定義を説明すべし……………(第二六五條)……………三八三

(問題索引) 物權編 地上權



- ◎(参考判例) 地上権者の賃貸権—地上権者の権利—家屋所有と土地所有者との関係
- ◎地上権者は如何なる場合に地代の免除又は減額を地主に對し請求することを得るや……………(第二六六條)……………三八五
- ◎(参考判例) 地代増額の約束—地上権の消滅方法—地上権契約證書—地代増加の請求—地代を定むる標準
- ◎地上権者と其相隣者との権利義務の關係を問ふ……………(第二六七條)……………三九一
- ◎地上権の期間を永久存続すると定めたるものは其期限如何……………(第二六八條)……………三九二
- ◎(参考判例) 苦情申入間敷候—地上権存続期間と解約地上権の存続期間
- ◎地上権の消滅するときに地上権者は如何なる権利義務ありや……………(第二六九條)……………三九五
- ◎(参考判例) 地上権譲渡の效力—地上権者の損害賠償権—立木賣買と公示方法—登記せざる地上権—工作物の権利と地上権—移轉料の性質

### 第五章 永小作權

- ◎永小作權とは如何なる權利なりや……………三九八
- ◎永小作物とは何ぞ……………(第二七〇條)……………三九九
- ◎小作人は如何なる義務ありや……………(第二七一條)……………四〇四
- ◎小作人は小作權を讓渡又は賃貸することを得るや……………(第二七二條)……………四〇四
- ◎小作人の義務に付ては本章の規定の外賃貸借の規定が適用せらるゝものなるや……………(第二七三條)……………四〇九
- ◎小作人は天災の爲め耕作する事能はざるときは小作料の減額又は免除を請求することを得るや……………(第二七四條)……………四一〇
- ◎小作人は如何なる場合に權利を放棄する權利ありや……………(第二七五條)……………四一一
- ◎小作人が小作料を支拂はざるときは地主は如何にすべきや……………(第二七六條)……………四一二
- ◎永小作權に付き一定の慣習あるときは之に従ふべきものなるや……………(第二七七條)……………四一三
- ◎小作權は何年迄存続することを得るや……………(第二七八條)……………四一三
- ◎永小作權消滅の場合には其地上にある耕作物又は獸畜は何人の所有



に属すべきや……………(第二七九條)……………四一五

### 第六章 地役權

- ◎地役權とは如何なる權利なりや……………(第二八〇條)……………四一七
- ◎地役權のみ讓渡すことを得るや……………(第二八一條)……………四二〇
- ◎地役權の不可分とは何ぞ……………(第二八二條)……………四二一
- ◎地役權の繼續且表現とは何ぞ……………(第二八三條)……………四二二
- ◎共有者の一人が時効に因り地役權を取得したるときは他の共有者も其利益を受くるや……………(第二八四條)……………四二三
- ◎用水地役權とは何ぞ、井戸水の不足なる時は地役權者は如何なる權利あるや……………(第二八五條)……………四二四
- ◎土地を護受げんとする者は如何なる注意を要するや……………(第二八六條)……………四二七
- ◎地役に依り義務を負擔する者は其土地の所有權地役者に委棄して其義務を免がるゝことを得るや……………(第二八七條)……………四二八
- ◎承役地の所有者は地役權者の工作物を使用する權利ありや……………(第二八八條)……………四二九

四〇

- ◎第三者が取得時効に因り承役地の所有權を取得したるときは之に因り地役權は消滅するものなるや……………(第二八九條)……………四三〇
- ◎前條の消滅時効は地役權者が其權利の行使に因りて中斷するものなりや……………(第二九〇條)……………四三〇
- ◎地役は何時より消滅時効の期間を起算するや……………(第二九一條)……………四三一
- ◎要役地が數人の共有に屬する場合に於て其一人の爲めに時効の中斷又は停止あるときは其中斷又は停止は他の共有者の爲めにも其效力ありや……………(第二九二條)……………四三二
- ◎地役權の一部分のみ消滅時効に罹ることありや……………(第二九三條)……………四三三
- ◎下草刈取權は地役權なりや……………(第二九四條)……………四三三

### 第七章 留置權

- ◎擔保とは何ぞ、對人擔保とは如何……………四三四
- ◎留置權とは如何なる權利なるや、留置權と質權との差異は如何……………四三五

(問題索引) 物權編 地役權 留置權

四一



- ◎下宿屋の主人は下宿料の不支拂に付き其手荷物に留置する権利あり  
や……………(第二九五條)……………四三六
- ◎留置権者は全部辨済を受くるまで留置することを得るや……………(第二九六條)……………四三七
- ◎留置権者は留置物より生ずる果實を取得することを得るや……………(第二九七條)……………四三八
- ◎留置権者は留置物を使用し若くは賃貸することを得るや……………(第二九八條)……………四三九
- ◎留置権者が留置物に付き費用を出したるときは所有者に對し其費用の償還を請求することを得るや……………(第二九九條)……………四四〇
- ◎留置物を留置したる事實を以て主たる債權の行使と看做すことを得べきや……………(第三〇〇條)……………四四二
- ◎債務者は相當の擔保を供して留置物の返還を請求することを得るや……………(第三〇一條)……………四四二
- ◎如何なる場合に留置権は消滅するものなるや……………(第三〇二條)……………四四三

### 第八章 先取特權

#### 第一節 總則

- ◎先取特權とは如何なる權利なりや……………(第三〇三條)……………四四五
- ◎先取特權は如何なる物に對して之を行ふことを得るや、且つ其要件を問ふ……………(第三〇四條)……………四四七
- ◎債權の全部の辨済を受くる迄は目的物の全部に付て先取特權を行ふことを得るものなりや……………(第三〇五條)……………四四八

#### 第二節 先取特權の種類

##### 第一款 一般の先取特權

- ◎先取特權には如何なる種類ありや……………(第三〇六條)……………四五〇
- ◎一般先取特權の種類を擧げよ……………(第三〇七條)……………四五〇
- ◎他人のために共同利益になる費用を出したるものは先取特權あるや……………(第三〇七條)……………四五一



- 葬式の費用を立替たる者は先取特権を有するや……………(第三〇八條)……四五二
- 雇人の給料に先取特権ありや……………(第三〇九條)……四五三
- 米屋、薪炭屋の債權に先取特権ありや……………(第三一〇條)……四五三

### 第二款 動産の先取特権

- 動産の先取特権即ち債務者の特定の動産の上に先取特権を行ふことを得る債權の種類を擧げよ……………(第三一一條)……四五四
- 家主と地主の先取特権を説明すべし……………(第三一二條)……四五七
- 地代、小作料、家賃等に付ての先取特権は債務者の如何なる物の上に存するや……………(第三一三條)……五四七
- 賃借物を又貸したる場合に先取特権は如何……………(第三一四條)……四五八
- 不動産賃貸借の關係より生ずる債權の先取特権は如何なる時期までのものを主張し得るか……………(第三一五條)……四五九
- 賃貸人が敷金を受取りたる場合に於ては賃貸人の先取特権は如何なる範圍に於て之を主張し得べきや……………(第三一六條)……四六〇

- 宿泊料は如何なる物に付先取特権ありや……………(第三一七條)……四六〇
- 運送の費用は如何なるものに付先取特権ありや……………(第三一八條)……四六一
- 先取特権に準用せらるべき占有權の規定を説明すべし……………(第三一九條)……四六一
- 公吏保證金の先取特権を説明すべし……………(第三二〇條)……四六二
- 動産保存の先取特権を説明すべし……………(第三二一條)……四六三
- 賣主は買主が其物品の代價を支拂はざる時は如何なる權利ありや……………(第三二二條)……四六三
- 種苗肥料の供給に依り生じたる債權の先取特権を説明すべし……………(第三二三條)……四六四
- 農工業の労働者の先取特権を説明すべし……………(第三二四條)……四六五

### 第三款 不動産の先取特権

- 不動産の先取特権即ち債務者の不動産の上に先取特権を行ふことを得る債權の種類を擧げよ……………(第三二五條)……四六六
- 土地建物の保存に要したる費用を出したる者は如何なる物に先取の特権ありや……………(第三二六條)……四六八



- 土地又は建物に工事を爲したる費用は如何なる物に付き先取の特  
権ありや……………(第三二七條)……四六八
- 土地又は建物を賣買したる代金を請求する債權に先取の特權あり  
や……………(第三二八條)……四六九

### 第三節 先取特權の順位

- ◎債務者の總財産中に於て一番先に辨濟を受くる債權如何……………(第三二九條)……四七三
- ◎同一の動産に付先取特權が競合したるときは何れの債權が優先して  
辨濟を受くるや……………(第三三〇條)……四七四
- ◎同一の不動産に付特別の先取特權の競合したる時は如何……………(第三三一條)……四七六
- ◎同一の目的に付き同一順位の先取特權者數人あるときは各其債權額  
の割合に應じて辨濟を受くるものなりや……………(第三三二條)……四七七

### 第四節 先取特權の效力

◎先取特權の目的物を他人に賣渡したる場合には其物の代價に付先取

- する事を得るや……………(第三三三條)……四八〇
- ◎一物の上に動産質と先取特權と競合したる時は何れが優先すべき  
や……………(第三三四條)……四八〇
- ◎一般先取特權を行ふに付ての要件を説明すべし……………(第三三五條)……四八一
- ◎一般先取特權は登記を爲さるも普通の債權者に對し優先權あり  
や……………(第三三六條)……四八三
- ◎不動産保存の先取特權は如何にして效力を保存するや……………(第三三七條)……四八三
- 不動産工事の先取特權の效力を保存するには如何なる條件を必要  
とするや……………(第三三八條)……四八四
- 不動産先取特權と抵當權との關係如何……………(第三三九條)……四八五
- 不動産賣買の先取特權は如何なる時より其效力を生ずるや……………(第三四〇條)……四八五
- ◎不動産先取特權の效力に付ては抵當權に關する規定が準用せらるゝ  
ものなるや……………(第三四一條)……四八六

## 第九章 質權

(問題索引) 物權編 質權



◎質権の性質を説明すべし……………四八六

### 第一節 總則

- ◎質権は如何なる權利なりや……………(第三四二條)……四九〇
- ◎如何なる物を質物と爲すことを得ざるや……………(第三四三條)……四九一
- ◎如何なる時より質として效力あるや……………(第三四四條)……四九一
- ◎質物を質置主に預け置く事を得るや……………(第三四五條)……四九一
- ◎質権は如何なる債權を擔保するや……………(第三四六條)……四九二
- ◎質取主は如何なる場合に質物の引渡しを要求せらるゝや……………(第三四七條)……四九三
- ◎質取主は自己の責任を以て質物の轉賣を爲すことを得るや……………(第三四八條)……四九三
- ◎質物を質入する時流質契約を取結ふことを得るや……………(第三四九條)……四九五
- (参考判例) 電話使用權の質入……………(第三五〇條)……四九七
- ◎質権に準用すべき留置權の規定を問ふ……………(第三五〇條)……四九七
- ◎他人の爲め自己の物を質入したる場合に於て質取主が質権の實行に依り質物の所有權を失ひたるときは其他人に對し求償權を有する……………(第三五一條)……四九七

すや……………(第三五一條)……四九七

### 第二節 動産質

- ◎質取主は他人に對し質の效力を主張するに如何なる條件を要するや……………(第三五二號)……四九九
- ◎質取主が物を奪はれたる時は如何にすべきや……………(第三五三條)……五〇一
- ◎質取主は如何なる場合に質物を以て辨濟を受くることを得るや……………(第三五四條)……五〇二
- ◎同一の質物に數個の債權あるときは其順位如何……………(第三五五條)……五〇四

### 第三節 不動産質

- ◎質取主は質物の土地を使用し賃貸することを得るや……………(第三五六條)……五〇五
- ◎質物としたる不動産の租税は何人が負擔すべきや……………(第三五七條)……五〇六
- ◎不動産の質取主は利子を請求し得るや……………(第三五八條)……五〇六
- ◎不動産契約に特別の約定あるときは之に従ふべきものなるや……………(第三五九條)……五〇七

(問題索引) 物權編 質權



○不動産質は何年迄効力ありや……………(第三六〇條)……………五〇七  
○不動産質には抵當權の規定を準用すべきものなるや……………(第三六一條)……………五〇八

### 第四節 權利質

○權利質とは何ぞ……………五〇九  
○物權債權の如き財産權も質權の目的物と爲すことを得るや……………(第三六二條)……………五一〇  
○債權を質入するには如何なる條件に従ふべきや……………(第三六三條)……………五一〇  
○指名債權(即ち名宛ある債權)を質入する場合には如何なる手續を必要とするや……………(第三六四條)……………五一一

(參考判例) 記名株式の性質

○記名の社債を質入するには如何なる手續を必要とするや……………(第三六五條)……………五一三  
○指圖債權とは何ぞ、指圖債權を質入するには如何なる手續を要するや……………(第三六六條)……………五一三  
○債權の質取主が辨濟を受けたる時は如何にすべきや……………(第三六七條)……………五一四

○質取主が質權を實行するには如何なる方法に依るべきや……………(第三六八條)……………五一五

## 第十章 抵當權

○抵當權の性質を説明すべし……………五一六

### 第一節 總則

○抵當權者は如何なる權利を有するや、地上權、永小作權は抵當と爲すことを得るや……………(第三六九條)……………五二一  
○根抵當の効力如何……………五二三  
○別段の約束なければ抵當物の上に存する建物にまで抵當の權利を及ぼす事を得るや……………(第三七〇條)……………五三三  
○果實は何時より抵當權の實行を受くるや……………(第三七一條)……………五三四  
○抵當權に準用せらるる留置權、先取特權及質權の規定を示すべし(第三七二條)……………五三五

### 第二節 抵當權の効力

(問題索引) 物權編 抵當權



- ◎同日に登記したる時は何を標準として其順位を定むるや……………(第三七三條)……………五三七
- ◎抵當權設定登記後其土地上に地上權を設定したるときは抵當權者は其地上權を無視して抵當權の實行を爲すことを得るや……………五三八
- (參考判例) 抵當權登記後の地上權設定の效力……………(第三七四條)……………五三八
- ◎抵當權者の利息其他の定期金請求の權利を説明すべし……………(第三七五條)……………五三八
- ◎抵當權を以て他の債務の擔保と爲し又は抵當權を讓渡し或は其順位を讓渡すことを得るや……………(第三七六條)……………五四〇
- ◎債務者が抵當權讓渡ありたる事を知らずして前の債務者に辨濟を爲したる時は其效果如何……………(第三七六條)……………五四九
- ◎抵當付の不動産を買受けたる者が抵當權者の請求に遭ひたる時は如何にすべきや……………(第三七七條)……………五五二
- ◎抵當權の滌除とは何ぞ……………(第三七八條)……………五五六
- ◎如何なる者は滌除を爲す事を得ざるや……………(第三七九條)……………五五七
- ◎例へば東京へ住居すれば其抵當權附の宅地を買受くべしとの條件附の契約を爲したる者は其條件の成否未定の間は抵當權の滌除を爲すことを得ざるや……………(第三八〇條)……………五五七

- 抵當權を實行するには抵當物の取得者に對し其旨を通知することを要するや……………(第三八一條)……………五五八
- 滌除を爲すべき期間如何……………(第三八二條)……………五五九
- 滌除を告知するには如何なる書面を要するや……………(第三八三條)……………五六一
- 滌除の承諾若くは異議の要件を説明すべし……………(第三八四條)……………五六四
- ◎債權者が増價競賣を請求するときは如何なる手續を要するや……………(第三八五條)……………五六九
- 増價競賣を請求したる者は隨意に其請求を取消すことを得ざるや……………(第三八六條)……………五七二
- 如何なる場合に抵當不動産の競賣を請求することを得るや……………(第三八七條)……………五七三
- ◎抵當の土地を競賣する場合に其上にある建物は如何にすべきや……………(第三八八條)……………五七四
- ◎土地の抵當權設定後其土地の上に建物を築造したるときは抵當權者は土地と共に之を競賣することを得るや……………(第三八九條)……………五七七
- ◎抵當權附の土地若くは建物を買受けたる者も抵當權實行の際に競賣人となることを得るや……………(第三九〇條)……………五七七



- ◎ 抵當不動産に付き必要費有益費を出したるものは最も先に其償還を受くることを得るや……………(第三九一條)……………五七八
- ◎ 數個の抵當不動産の競賣價額の配當方法如何……………(第三九二條)……………五七九
- ◎ 抵當權の代位を附記すれば如何なる利益ありや……………(第三九三條)……………五八一
- ◎ 抵當權者は抵當物の競賣前に他の財産より自己の債權を受くることを得るや……………(第三九四條)……………五八一
- ◎ 登記したる貸借の效力を問ふ……………(第三九五條)……………五八三

### 第三節 抵當權の消滅

- 主たる債權が時効に因り消滅したるときは其抵當權も亦消滅するものなるや……………(第三九六條)……………五八九
- 抵當不動産に付き取得時効に必要な條件を具備せる占有を爲したるときは抵當權は之に因りて消滅するや……………(第三九七條)……………五九〇
- 地上權又は永小作權を抵當と爲したる者か其權利を拋棄したるときは其地上權又は永小作權の抵當權も亦消滅するものなるや……………(第三九八條)……………五九〇

## 第三編 債權

- ◎ 債權とは何ぞ……………五九一
- ◎ 債權の性質を説明すべし……………五九三
- ◎ 人は何事たるを問はず要求次第之を爲すべしと云ふ契約を結ぶことを得るや……………五九四
- ◎ 債權者債務者とは何ぞ、債權關係とは何ぞ、當事者とは何ぞ……………五九五

### 第一章 總則

#### 第一節 債權の目的

- ◎ 債權の目的とは何ぞ……………五九七
- ◎ 債權の目的物は金錢に見積り得るものなることを要せざるや……………(第三九九條)……………五九九
- ◎ 債權者は或物の引渡を爲すまで其物に付き如何なる注意をなすべきや……………(第四〇〇條)……………六〇一



- 上中下の品質を異にせる物の中何れを債権と目的としたるか知れざるときは債務者は如何なるものを給付すべきや……………(第四〇一條)……六〇二
- 債権の目的たる特種の通貨が通用力を失ひたるときは債務者へ他の通貨を給付すべきや……………(第四〇二條)……六〇四
- 外國の通貨を以て債権額を定めるものは必ず外國の通貨を以て支拂ふべきや……………(第四〇三條)……六〇六
- 利息に付き別に契約せざるときは利息なきものと見做すべきや……………(第四〇四條)……六〇七
- 利息制限法を説明すべし……………六〇八
- 利息は一年分延滞したる場合に於て之を元金に組入るゝを得るや(第四〇五條)……六〇九
- 債権の目的數個ある場合例へば甲が乙に對し米百石與ふるか否らざれば金千圓を與ふべしと約したる場合には其選擇の權は何人にありや……………(第四〇六條)……六一一
- 一旦選擇して債権を定めたる後又之を取消して他のものを選ぶゝとを得るや……………(第四〇七條)……六一二
- 相手方が辨濟の時期來るも其債権の目的何れかを選択せざると

- ときは一方は如何にすべきや……………(第四〇八條)……六一三
- 他人をして債権の目的の中何れかを選ばしむる場合に其他人が選擇を爲すこと能はざるときは其選擇權は何人に移るや……………(第四〇九條)……六一五
- 選擇債務の場合に於て選擇物の中天災其他の事故に依り履行の不能と爲りたるときは其選擇權は如何なる關係を生ずるや……………(第四一六條)……六一六
- 選擇は如何なる時より其效力を生ずるものなるや、實例を擧げて之を説明すべし……………(第四一一條)……六一七

### 第二節 債権の效力

- 債務履行の時期來るも履行せざるときは如何なる責を負ふや、遲滞の責とは何ぞ……………(第四一二條)……六二一
- (参考判例) 敷金に對する利息一年賦金借用の遲滞—履行の催告と期間—追々辨濟可致候の借用證文—債権收入次第返濟可仕候の借用證書
- 債務者が債務を履行すると云ふに債権者が之を受くることを拒み



- 又は受けること能はざるときは債權者は如何なる責を負ふや又債權者は如何にすべきや……………(第四一三條)……六二五
- ◎強制履行を請求し得る場合を問ふ……………(第四一四條)……六二七  
(参考判例) 損害賠償請求の原因―債務の不履行の事實―無盡講掛金取戻の請求―貸貸人の責任―債務の履行と損害賠償の責任
- ◎如何なる場合に損害賠償の要求を爲すことを得べきや……………(第四一五條)……六三八
- ◎損害賠償の要求は如何なる標準に依り算定するものなるや……………(第四一六條)……六四二  
(参考判例) 貸貸人と損害賠償責任―賣買契約に因る損害賠償責任
- ◎損害賠償の額は金銭を以て見積るべきものなるや……………(第四一七條)……六四六
- ◎債務の不履行に關し債權者にも過失ありたるときは其損害賠償の金額は如何に之を定むべきものなるや……………(第四一八條)……六四七
- ◎金銭上の債務の不履行に因る損害賠償の額は如何に之を定むべきものなるや……………(第四一九條)……六四八
- ◎右の場合に約定利率が法定利率を越ゆるときは約定利率に依るべき

ものなるや……………

六四八

- ◎違約金とは何ぞ……………(第四二〇條)……六五〇
- ◎金銭に非ざるものを以て損害賠償の豫定と爲すことを得るや……………(第四二一條)……六五二
- ◎債務者が債務全体の損害賠償を爲したるときは如何なる權利を有するや……………(第四二二條)……六五三
- ◎裁判所の代位とは何ぞ……………(第四二三條)……六五四  
(参考判例) 債權保全の訴―代位權の效力―間接訴權の性質
- ◎廢罷訴權とは何ぞ……………(第四二四條)……六五八  
○債務者が債權者の權利を害さんと欲し他人と爲したる取引は之を債權者は取消すことを得べきや若し此場合に他人が其事情を知らずして爲したるときは如何……………六五八  
(参考判例) 登記の取消と物品の取戻の廢罷訴權―裏書の詐害行為―取消以前の法律行為の效力―債務者以外の者の詐害行為―假裝の抵當不動産の競賣―受益者又は轉得者の立證責任―債務者惡意の推定―第四百二十四條但書の立證責任―廢罷訴權の效力―詐



害行為の取消と登記の抹消—詐害行為と隠居—特許權の賣買に因る詐害行為—假裝の法律行為—廢罷訴權の目的となる法律行為民法第四百二十四條の法律行為—抵當權設定に因る詐害行為—亡父の遺志實行に因る詐害行為

○右の場合に於ける取消即ち廢罷訴權は之を行ひたる當事者のみに效力あるのみなるや……………(第四二五條)……………六六九  
○廢罷訴權は何年行はざるにより消滅するや……………(第四二六條)……………六六九

### 第三節 多數當事者の債權

○多數當事者の債權とは何ぞ……………六七〇

#### 第一款 總則

○數人の債務者あるときは如何なる割合に權利義務ありや……………(第四二七條)……………六七一

#### 第二款 不可分債務

○不可分債務とは何ぞ……………六七二

○不可分債務に關する請求權及び履行の方法を問ふ……………(第四二八條)……………六七四

○不可分債權者の一人と其義務者間に於ける權利義務の關係を問ふ……………(第四二九條)……………六七五

○不可分債權者が債務者一人に對し債務を免除せし場合 於ても他の債務者に對し全部の履行を請求することを得るや……………(第四三〇條)……………六七六

○不可分債務が可分債務に變りたる場合に於ける各債權者及各債務者との關係を問ふ……………(第四三一條)……………六七七

#### 第三款 連帶債務

○連帶債務の性質を説明すべし……………六七九

○不可分債務と連帶債務との區別を問ふ……………六七九

○債權者は連帶債務者の一人に對し全部を請求することを得るや又人には全部他の一人には一部といふ様に請求額を異にして同時若くは順次に請求することを得るや……………(第四三二條)……………六八一



- 連帶債務者の一人が無能力・強迫・詐欺其他の原因に依り無効又は取消となりたる爲め他の債務に關係を及ぼすや……………(第四三三條)……六八六
- 連帶債務者の一人にのみ請求したる場合に於ても全體に對して請求したるものと云ふことを得るや……………(第四三四條)……六八七
- 連帶債務者の一人と債權者の一人との間に契約を改め他の債務者に付き何等の契約を爲さざる時は他の債務者の債務は消滅するや(第四三五條)……六八七
- 連帶債務者の一人が債權者と差引勘定ある時は他の連帶債務者は之を主張することを得るや……………(第四三六條)……六八九
- 連帶債務者の一人に對して債務の免除を爲したるときは他の債務者も亦其債務を免がることを得るや……………(第四三七條)……六九〇
- 連帶債務者の一人と債權者との間に混同ありたるときは其效果如何……………(第四三八條)……六九一
- 連帶債務者の一人のみ時効が完成すれば他の債務者は如何なる效果を得るや……………(第四三九條)……六九二
- 連帶債務者の一人に對する債權債務の關係は他の債務者にも其效力を及ぼすや……………(第四四〇條)……六九三

- 連帶債務者の一人が破産宣告を受けたるときは債權者は其債權の全額につき破産財團の配當に加入することを得るや……………(第四四一條)……六九四
- 連帶債務者相互の間には如何なる權利義務ありや……………(第四四二條)……六九五
- 辨濟其他免責の行爲を爲したる債務者の一人が他の連帶債務者に通知を怠りたるときは如何なる責を負はざらべからざるや……………(第四四三條)……六九七
- 連帶債務者中に償還を爲す資力なきものあるときは他の債務者の損失となるや……………(第四四四條)……七〇〇
- 連帶債務者の一人が債務の免除を得たる者ある場合に於て無資力者を生じたるときは其損害は何人の負擔なるや……………(第四四五條)……七〇一

### 第四款 保證債務

- 保證債務の性質を説明すべし……………(第四四六條)……七〇二
- 保證人は如何なる責任ありや……………(第四四六條)……七〇四



- ◎ 保証人は元金のみに對して保証するものなりや、但又其利息、違約金、損害賠償等をも保証するものなりや……………(第四四七條)……七二〇
- 保証人は主たる債務者より重き負擔を保証するを得るや……………(第四四八條)……七二二
- ◎ 主たる債務者の無能力なることを知らずして保証したるときは其保證契約を取消すことを得るや、又其無能力を知りながら保証を爲したるときは如何なる責を負ふや……………(第四四九條)……七二三
- ◎ 債務者が保証人を立つる義務を負ふ場合に如何なる者を立てざるべからざるや……………(第四五〇條)……七二四
- ◎ 保証人が債務の請求を受けたるときは先づ主たる債務者に催告すべきことを主張することを得るや……………(第四五二條)……七二七
- (参考判例) 催告と檢索—屹度辨濟仕候……………
- ◎ 檢索の利益とは何ぞ……………(第四五三條)……七二〇
- ◎ 連帶保証人は催告檢索の利益を主張することを得ざるや……………(第四五四條)……七二三
- ◎ 保証人が檢索を主張したるにも拘らず債權者が之を怠りたる場合は如何なる責を負ふや……………(第四五五條)……七二四

- 數人の保証人ある場合に於て其保証人が各別の行爲を以て債務を負擔したるときは各保証人の負擔部分如何……………(第四五六條)……七二七
- ◎ 主たる債務が消滅時効に罹らざるに保證債務のみ時効により消滅することを得るや……………(第四五七條)……七二七
- ◎ 連帶保証と主たる債務者との關係如何……………(第四五八條)……七二八
- ◎ 保証人が辨濟したるときは債務者に對し如何なる權利ありや……………(第四五九條)……七二九
- ◎ 保証人は豫じめ主たる債務者に對し求償權を行ふことを得るや……………(第四六〇條)……七三一
- 辨濟前の賠償に關する主たる債務者の權利を問ふ……………(第四六一條)……七三二
- 債務者の依頼なきに勝手に保証人と爲りし者の權利如何……………(第四六二條)……七三四
- 保証人は如何なる場合に主たる債務者に對し求償權を失ふものなるや……………(第四六三條)……七三五
- 連帶債務者又は不可分債務者の一人の爲めに保証人となりたるものは他の債務者に對して求償權ありや……………(第四六四條)……七三六
- 保証人が數人ある場合に關し各保証人間の關係を問ふ……………(第四六五條)……七三七



### 第四節 債權の讓渡

- 讓渡を爲さずと云ふ特約ある債權なるを知らずして讓受けたる者は其讓受を取消さるゝことありや……………(第四六六條)……………七三九  
(參考判例) 請負報酬金—買戻權の讓渡—議員の歳費株—金拂込請求權—官有地借地權讓渡
- 債權の讓渡には如何なる手續を要するや……………(第四六七條)……………七四三  
(參考判例) 工事請負契約の讓渡—債權讓渡人の責任—債權讓渡の通知方法—債權讓渡の承諾—指名債權讓渡の通知人—持參人拂の證書
- 債務者は債權の讓渡を承諾せざることを得るや……………(第四六八條)……………七四九
- 債務者が單に通知を受けたるのみにして其讓渡を承諾せざるときは如何……………七五〇
- 指圖債權の讓渡方法を問ふ……………(第四六九條)……………七五一
- 手形の債務者は其證書の所持人及び署名捺印の眞偽を調査する義務は如何……………七五〇

- ありや誤りて偽造證書を受取り辨濟したるときは其辨濟は無効なりや……………(第四七〇條)……………七五二
- 所持人拂の證書の支拂に對し債務者の責任を問ふ……………(第四七一條)……………七五四
- 指圖債權を讓受たる者の權利を問ふ……………(第四七二條)……………七五五
- 無記名債權とは何ぞ……………(第四七三條)……………七五五

### 第五節 債權の消滅

- 債權は如何なる原因に依り消滅するや……………七五六

#### 第一款 辨濟

- 辨濟とは何ぞ……………七五七
- 債務の辨濟は債務者の承諾あるときは何人が辨濟するも有效なりや……………(第四七四條)……………七六〇
- 辨濟者が他人の物を引渡したる場合には其物を取戻すことを得るや……………(第四七五條)……………七六一



- 讓渡の能力なき所有者が辨濟として物の引渡しを爲したる場合には  
其物の取戻を爲すことを得るや……………(第四七六條)……七六二
- 前二條の場合に於て債權者が善意にて其物を消費し又は讓渡したる  
場合に於ては如何……………(第四七七條)……七六三
- 債權者にあらざるも證書の所持人に辨濟したるときは有效なるや(第四七八條)……七六四
- 辨濟を受くべき權限なき者に辨濟したるときは如何……………(第四七九條)……七六五
- 受取證書の所持人は辨濟受領の權限ありと看做すことを得べきや(第四八〇條)……七六六  
(參考判例) 偽造の受取證書—本條の精神
- 支拂を差止められたるにも拘らず其者に支拂を爲したるときは之を  
無効として再び請求することを得るや……………(第四八一條)……七六八
- 代物辨濟とは何ぞ……………(第四八二條)……七六九
- 引渡すべき物が毀損するも増加するも其儘にて引渡すべきや……………(第四八三條)……七七〇
- 辨濟を爲すべき場所を別段に定めざるときは何處に於て爲すべきや  
……………(第四八四條)……七七一
- 辨濟に付き要したる費用は何人の負擔なるや……………(第四八五條)……七七二

- 辨濟を受取りたる者は辨濟者に對し如何なる義務ありや……………(第四八六條)……七七二
- 右の場合に必ず受取證書を交付する義務あるものなるや……………(第四八七條)……七七三
- 辨濟を爲すべき債務數多あるときは如何なるものより辨濟すべきや  
……………(第四八八條)……七七五
- 何れの債務を辨濟するものなるかを指定せざるときは法律上如何  
なる債務の辨濟に充つるものなるや……………(第四八九條)……七七七
- 一個の債務に付き數個の給付を爲すべき場合に於て辨濟者が其何  
れの部分を辨濟すべきものなるかを指定せざるときは法律上何れ  
の部分の辨濟に充つべきものなるや……………(第四九〇條)……七七九
- 元本の外利息及び費用を拂ふべき場合に於て辨濟者が其債務の全  
部を消滅せしむるに足らざる給付を爲したるときは何れのもの  
辨濟に充つべきものなるや……………(第四九一條)……七八〇
- 辨濟の提供とは何ぞ……………(第四九二條)……七八一
- 債權者が故意に辨濟の受領を拒みたるときは債務者は如何にすべ  
きや……………(第四九三條)……七八二



(参考判例) 辨済の提供—辨済の目的物の供託—郵便爲替の送附  
一部辨済の提供—多大なる金銭取引

◎供託は如何なる場合に之を爲す必要ありや……………(第四九四條)……………七八六  
(参考判例) 供託の義務

○供託の手續を問ふ……………(第四九五條)……………七八九  
○供託者が供託物を取戻し得る場合を問ふ……………(第四九六條)……………七八九

(参考判例) 供託の效力  
○債務者が目的物の競賣を爲すの必要ある場合如何……………(第四九七條)……………七九一

○債権者より或給付を爲すべき場合に於ては其給付を爲すに非ざれば供託物を受ることを得ざるや……………(第四九八條)……………七九四

◎人の債務を代つて辨済したる者は如何なる権利を得るや……………(第四九九條)……………七九五  
◎法定代位とは何ぞ……………(第五〇〇條)……………七九六

◎代位の效力を説明すべし……………(第五〇一條)……………七九七  
○一部の代位辨済ありたる場合に於ける代位の效力を問ふ……………(第五〇二條)……………八〇二

◎債権者は代位辨済者に對し如何なる義務ありや……………(第五〇三條)……………八〇三

○債権者が故意又は懈怠に因り擔保を喪失したる場合には代位者は如何なる権利ありや……………(第五〇四條)……………八〇四

### 第二款 相殺

◎相殺とは何ぞ……………(第五〇五條)……………八〇五

◎如何なるものは相殺(差引勘定)を爲すことを得るや……………(第五〇六條)……………八〇六

◎相殺(差引勘定)を爲す方法を問ふ……………(第五〇六條)……………八〇九

◎相殺は雙方の債務地が異なるときと雖も之を爲すことを得るや……………(第五〇七條)……………八一

◎時効に依る消滅以前に相殺に適したる債権は之を相殺の用に供することを得るや……………(第五〇八條)……………八一

◎不法行為に依りて生じたる債務は相殺を主張することを得ざるや……………(第五〇九條)……………八一

◎差押を禁じたる債権に對する債務は相殺を主張することを得ざるや……………(第五一〇條)……………八一

◎支拂の差止を受けたる債権を以て相殺の用に供することを得るや……………(第五一一條)……………八一

◎差引勘定が總勘定に不足なる場合に於て如何なる債務から其差引を……………(第五一二條)……………八一



を充當するものなるや……………(第五一二條)……………八一六

七二

### 第三款 更改

- ◎更改とは如何なることぞ……………八一六
- ◎債務の要素の變更とは何ぞ……………(第五一三條)……………八一七
- ◎債権者の意思に反して債務者を交替することを得べきや……………(第五一四條)……………八二〇
- ◎確定日附ある證書とは何ぞ……………(第五一五條)……………八二三
- ◎債権者の交替に因る更改は如何なる手續を要するや……………(第五一六條)……………八二五
- ◎如何なる更改契約は無効なるや……………(第五一七條)……………八二六
- ◎舊債務の爲めに供したる擔保物は更改に因る新債務に移すことを得るや……………(第五一八條)……………八二七

### 第四款 免除

- ◎債務を免除するには如何にすべきや……………(第五一九條)……………八二八

### 第五款 混同

- ◎債務の混同とは何ぞ……………八三〇
- ◎債權債務が同一人に歸したるときは消滅するものなりや……………(第五二〇條)……………八三〇

## 第二章 契約

- ◎契約とは如何なることを云ふや……………八三一
- ◎契約の種別を擧げよ……………八三二
- 有償契約、無償契約とは何ぞ……………八三二
- 生前契約、死後契約とは何ぞ……………八三二
- 要式契約、不要式契約とは何ぞ……………八三三
- 管理契約、處分契約とは何ぞ……………八三三
- 雙務契約、片務契約とは何ぞ……………八三三
- 有名契約、無名契約とは何ぞ……………八三三



### 第一節 總則

#### 第一款 契約の成立

- 何日迄に確答すべしと期間を定めて申込たるものは之を取消すことを得ざるや……………(第五二一條)……八三六
- 如何なる場合に申込者は延着通知の義務ありや……………(第五二二條)……八三九
- 遅延したる承諾は新なる申込と看做すべきや……………(第五二三條)……八四三
- 承諾の期間を定めずして爲したる申込は相當の期間之を取消すことを得ざるや……………(第五二四條)……八四四
- 申込者が死亡若しくは能力を喪失したるときは其申込は效力を失ふや……………(第五二五條)……八四六
- 契約は如何なる時に於て成立するや……………(第五二六條)……八四八
- 如何なる場合に承諾者が延着の通知を爲す義務ありや……………(第五二七條)……八五〇
- 申込に變更を加へて承諾したるものは新なる申込と看做さるゝや(第五二八條)……八五三

- 廣告者は如何なる義務ありや……………(第五二九條)……八五六
- 廣告を取消すには如何なる方法に依るべきや……………(第五三〇條)……八五七
- 廣告者が期間を定めて爲したる契約は取消すことを得ざるや……………八五六
- 廣告に定めたる行爲を爲したる者數人あるときは如何にすべきや(第五三一條)……八六〇
- 懸賞廣告者の義務を説明すべし……………(第五三二條)……八六一
- (参考判例) 契約證文と當事者の眞意―貸座敷營業と娼妓との契約―期間經過後の解除―政府の入札公告―抵當物件辨濟充當の契約―宅地一部の賣渡と名義書換手續―頼母子講の落札金と公正證書―相續戸主放蕩と家産契約―法律上當然負擔すべき義務

#### 第二款 契約の效力

- 相手方が債務を履行するまでは自己の債務の履行を拒むことを得る……………(第五三三條)……八六六
- (参考判例) 一部の履行請求―提供準備の催告―同時履行の原則―賃貸借關係―時期を失したる抗辨―代金引換の賣品引渡の請求



- 買買契約履行請求の訴
- ◎ 自己の買置きたる物が天災の爲め滅失又は毀損したるときは何人の負擔なるや……………(第五三四條)……………八七一
- ◎ 契約の目的物が毀損又は滅失したるときは如何なる關係を生ずるや……………(第五三五條)……………八七八
- ◎ 不特定物の危険は何人が負擔するや……………(第五三六條)……………八八〇
- ◎ 當事者の一方が第三者に對し或物の給付を爲すべきことを約したるときは第三者は其給付を請求するの權利ありや……………(第五三七條)……………八八一  
(參考判例) 會社成立前の契約—貸借契約ある地所賣買—他人の債務の辨濟
- ◎ 第三者の爲めに取結びたる契約は當事者に於て隨意に變更することを得るや……………(第五三八條)……………八八七
- ◎ 債權者は第三者に對し當事者契約以外の事項に基づき抗辨を爲すことを得るや……………(第五三九條)……………八八八

### 第三款 契約の解除

- ◎ 契約の解除とは何ぞ……………八八九
- ◎ 契約を解除するには如何なる方法に依るべきや……………(第五四〇條)……………八九〇
- ◎ 如何なる場合に契約を解除することを得るや……………(第五四一條)……………八九二
- ◎ 催告を爲さず直ちに其契約の解除を爲す場合を問ふ……………(第五四二條)……………八九五
- ◎ 相手方は債務履行の不能となりたるときは其契約を解除することを得るや……………(第五四三條)……………八九九
- ◎ 契約の當事者數人ある場合に一人のみに付契約を解除することを得るや……………(第五四四條)……………九〇一
- ◎ 契約解除に依り損害を受けたるものは賠償を請求することを得るや……………(第五四五條)……………九〇二
- ◎ 當事者の一方は相手が返還すべき物を提供する迄は自己も又相手方へ返還することを拒む權利ありや……………(第五四六條)……………九〇四
- ◎ 如何なる場合に解除權消滅するや……………(第五四七條)……………九〇四



◎天災の爲めに契約物が滅失又は毀損したる時は解除権は消滅するや……………(第五四八條)……………九〇六

### 第二節 贈與

- ◎贈與は如何なる時より其效力を生ずるや……………(第五四九條)……………九〇九
- ◎贈與は如何なる場合に於て取消すことを得るや……………(第五五〇條)……………九一二
- ◎贈與は如何なる割合に擔保責任ありや……………(第五五一條)……………九一三
- ◎無期限の定期贈與は何時に其效力を失ふや……………(第五五二條)……………九一四
- ◎負擔附贈與とは何ぞ……………(第五五三條)……………九一五
- ◎贈與者の死亡に因りて效力を生ずべき贈與は遺言に關する規定に従ふものなるや……………(第五五四條)……………九一五

### 第三節 賣買

- ◎賣買とは何ぞ……………九一六
- ◎賣買の要件を問ふ……………九一六

○賣買方法の種別を問ふ……………九一八

### 第一款 總則

- ◎賣買は如何なるときに成立するや……………(第五五五條)……………九二〇  
(參考判例) 代金の變更―當事者の如何―葬式物品の買主―賣買か請負か―賣主の占有權―賣買貸金と價格との相違―人膽の賣買未だ買主に引渡さざる物品と市價―假裝の不動産賣買と登記―酒庫内の清酒の賣買―賣主權利―不法の相續人―賣買豫約の效力―賣渡抵當の意義―僅少の過不足―犯罪手段の賣買―寺院附屬の財産賣買―競賣と眞正所有者―債權擔保の賣買名義
- ◎豫約賣買の性質及效力を説明すべし……………(第五五六條)……………九三二  
○手附とは何ぞ……………九六九
- ◎賣主買主は如何なる時期に到るまで手附を抛棄し又は其倍額を返還して契約の解除を爲すことを得るや……………(第五五七條)……………九三七
- ◎此の場合に損害の賠償を請求することを得るや……………九三八

(問題索引) 債權編 契約



- (参考判例) 金銭以外の物件の手附賣買—證據金と手附……………(第五五八條)……九四一
- 賣買契約に要したる費用は何人の負擔なるや……………(第五五九條)……九四一
- 賣買以外の有償契約に本節の規定を準用するものなるや……………(第五五九條)……九四一

### 第二款 賣買の效力

- 擔保責任とは何ぞ……………九四二
- 追奪擔保とは何ぞ……………九四三
- 瑕疵擔保とは何ぞ……………九四三
- 他人の物を賣買したるときは賣主は如何なる義務を負ふや……………(第五六〇條)……九四六
- (参考判例) 他人の物件の賣渡—冒認罪に因る賣買—犯罪の手段に因る賣買……………(第五六一條)……九四七
- 賣主が前條の義務を履行すること能はざるときは買主は如何なる權利ありや……………(第五六一條)……九四七
- (参考判例) 賣主の義務不履行—讓渡に因る無効の賣買……………(第五六二條)……九四九
- 賣主は如何なる場合に賣買契約を解除することを得るや……………(第五六二條)……九四九

- 賣買の目的物の一部が他人に屬するに依り賣主が之を買主に移轉すること能はざるときは買主は其賣買契約を解除し得るや又は代金の減額を請求することを得るやこの場合は尙損害賠償を請求することを得るや……………(第五三六條)……九五二
- 右の權利は何時迄に之を行使することを要するや……………(第五六四條)……九五四
- 坪數、量目、員數、尺度等を以て指示し賣買したる物が不足なる場合又は其一部が契約の當事滅失したる場合に於て買主は如何なる權利を有するや……………(第五六五條)……九五五
- 賣買の目的物が地上權、地役權、留置權又は質權の目的となり居る爲め其契約の目的を達すること能はざるときは買主は契約の解除を爲すことを得るや又は損害賠償の請求のみに止まるや……………(第五六六條)……九五六
- 賣買の目的たる不動産の上に先取特權又は抵當權の行使により賣主が其所有權を失ひたるときは其買主は契約を解除することを得るや……………(第五六七條)……五九八



- ◎競賣の場合に於て其競落に権利の欠缺あるときは如何なる請求權ありや……………(第五六八條)……九六〇
- ◎債權の賣買が債務者の資力を擔保したるときは何れの時に於て資力を擔保したるものなるや……………(第五六九條)……九六二
- ◎買受けたる物に瑕疵ありたるため其用を爲さざるときは其契約を解除することを得るや……………(第五七〇條)……九六四
- ◎擔保を提供する約束の許になりたる權利義務の關係を問ふ……………(第五七一條)……九六七
- ◎賣主は一切の擔保義務を負はざることを得るや……………(第五七二條)……九六八
- ◎賣買物の引渡に付き期限あるときは代金の支拂に付ても亦同一の期限を附したるものと推定するや……………(第五七三條)……九六九
- ◎代金は買物と引換に支拂ふべきものなるや……………(第五七四條)……九七〇
- ◎賣買契約を爲したれとも未だ引渡さざる賣買物の果實は買主賣主何れの所有となるや……………(第五七五條)……九七〇
- ◎買受けたる物に付き權利を主張するものあるときは買主は其危險の限度に應じ代金の支拂を拒むことを得るや……………(第五七六條)……九七一

- ◎買受けたる不動産の上に先取特權、質權又は抵當權の登記ある時は買主は其取除の手續を終る迄其代金の支拂を拒むことを得るや……………(第五七七條)……九七三
- ◎賣主が買主に對し代金の供託を請求し得る場合を問ふ……………(第五七六條)……九七六

### 第三款 買戻

- ◎買戻とは如何なることぞ、買戻の效力如何……………(第五七九條)……九七八
- (参考判例) 買主の義務—買戻契約の時期—買戻權の讓渡—賣主の買戻權の範圍—動産の買戻
- ◎買戻は何年内に之を爲さざれば買戻を爲すことを得ざるや……………(第五八〇條)……九八五
- ◎他人に對し買戻の契約あることを對抗するには如何なる手續を爲すべきや……………(第五八一條)……九八八
- ◎賣主の債權者が買戻を爲さんときは買主は如何なる權利ありや……………(第五八二條)……九八九
- ◎買戻を爲すには如何なる手續を要するや……………(第五八三條)……九九〇
- 不動産共有者の一人が買戻の特約を以て其特分を賣却したる後其不動産の分割又は競賣ありたるにより買戻の必要あるときは如何



にすべきや……………(第五八四條)……………九九一  
○右の場合に於て買主が不動産の競落人となるときは如何なる關係  
となるや……………(第五八五條)……………九九二

### 第四節 交換

◎債務の交換とは何ぞ……………(第五八六條)……………九九四

### 第五節 消費貸借

◎消費貸借の性質及び種別を問ふ……………九九七  
◎消費貸借は如何なる時に於て成立するや……………(第五八七條)……………九九九  
(参考判例) 金銭の消費貸借と抵當權―賴母子講の當藏―藝妓營  
業者の貸金―掛金の貸金―金銭の消費貸借―神官僧侶の金穀借入  
無盡講世話人の責任―利息の元本組入―糶無盡の性質  
◎貸借の契約なく後日に於て貸借の契約を爲したるときは其貸借は何  
時より效力を生ずるものなるや……………(第五八八條)……………一〇〇七

◎貸借の豫約を爲したる後日破産したるときは其貸借豫約關係は如  
何になるべきや……………(第五八九條)……………一〇〇八  
◎借りたる物に瑕疵ありたるときは瑕疵なきものと代ふることを要  
するや……………(第五九〇條)……………一〇〇九  
◎返還の時期なきときは貸主は直に返還すべきことを催告し得るや  
……………(第五九一條)……………一〇一〇  
◎借主は若し借物を返還すること能はざるときは如何にすべきや(第五九二條)……………一〇一二

### 第六節 使用貸借

◎使用貸借とは何ぞ……………一〇一三  
◎使用貸借は如何なる時期に成立するや……………(第五九三條)……………一〇一四  
◎借物を又貸しすることを得るや……………(第五九四條)……………一〇一八  
◎借物に要する費用は何人の負擔なるや……………(第五九五條)……………一〇二〇  
◎借物に瑕疵又は缺點ありたる場合の貸主の義務如何……………一〇二〇  
◎借物は何時に返還すべきや……………(第五九七條)……………一〇二一



- ◎借主(家借、物品借)は返還する時に如何なる権利義務ありや……(第五九八條)……一〇二四
- ◎使用貸借は借主の死亡に因りて消滅するや……(第五九九條)……一〇二五
- ◎契約の本旨に反する損害賠償及び借主が出したる費用の償還請求權は何年間請求せざるときは消滅するや……(第六〇〇條)……一〇二六

### 第七節 賃貸借

#### 第一款 總則

- ◎賃貸借とは何ぞ……(第六〇一條)……一〇二八
- (参考判例) 證書の文字—土地賃貸借契約證—他人の所有家屋の賃貸借—地代の延滞—地料の増額—相当地代の増加—差配人の權限—借家人失火の責任
- ◎物を處分する能力權限を有せざる者が賃貸借を爲す場合に於ては如何なる期間を守らざる可からざるや……(第六〇二條)……一〇四二
- (参考判例) 第六百二條違反の賃貸借

- ◎貸借期間を更新するには如何なる時期に於て之を爲すべきものなるや……(第六〇三條)……一〇四四
- ◎貸借の期間は何年間を越ゆることを得ざるや……(第六〇四條)……一〇四五

#### 第二款 賃貸借の效力

- ◎不動産の賃貸借を登記したるときは其效力如何……(第六〇五條)……一〇四七
- (参考判例) 不動産賃貸借登記—不動産賃貸借と抵當權の關係
- ◎賃貸人の權ハ義務如何……(第六〇六條)……一〇四九
- 賃貸物の修繕費は貸主借主何れに於て負擔すべきや……一〇五〇
- ◎貸主が賃貸物の修繕を爲すために借主が迷惑を感ずるときは如何にすべきや……(第六〇七條)……一〇五〇
- ◎家借主が其家に費用を出したるときは貸主に對し其費用を請求することを得るや……(第六〇八條)……一〇五三
- ◎小作人は天災の爲め借賃より少なき收益なるときは其借賃の減額を請求することを得るや……(第六〇九條)……一〇五六



- ◎小作人は何年以上借賃より少なき収益なるときは契約の解除を請求することを得るや……………(第六一〇條)……一〇五九
  - ◎借主が借りたる物品に缺點あるときは貸主に對し如何なる要求を主張し得るや……………(第六一一條)……一〇六二
  - ◎借主は賃借物を又貸しすることを得るや……………(第六一二條)……一〇六七
  - ◎轉貸したるときは其轉貸人と貸主と借主との權利關係如何……………(第六一三條)……一〇七一
  - ◎借賃は如何なる時期に支拂ふべきや……………(第六一四條)……一〇七三
  - ◎賃借物に付き修繕を要し又は權利を主張するものあるときは借主は如何なる義務ありや……………(第六一五條)……一〇七三
  - ◎貸借の使用収益及び返還時期の方法を問ふ……………(第六一六條)……一〇七六
- (參考判例) 借地人の原狀回復の義務

### 第三款 賃貸借の終了

- ◎借主は何時にても賃借物を返還する義務ありや……………(第六一七條)……一〇七八
- ◎家主より立退を請求せられても借主は何ヶ月間留まることを得

るや……………

- 解約と立退とは如何なる相違あるや……………
- (參考判例) 本條の規定と當事者の意思―入用の節は速に明渡すべしとの文句―家賃延滞と家屋の明渡請求……………
- ◎豫じめ解約を爲す約束を爲したるときは其權利關係如何……………(第六一八條)……一〇八三
- ◎賃貸借の期間を経過したる後尙其儘にして双方異議を爲さざるときは前の契約と同一の條件にて賃貸借を爲したるものと推定すべきや……………(第六一九條)……一〇八五
- ◎賃借契約を解除したるときは如何なる關係となるものなや……………(第六二〇條)……一〇八六
- ◎借主が破産の宣告を受けたるときは貸主は賃貸借契約を解除することを得るや……………(第六二一條)……一〇八七
- ◎賃借に對し損害賠償の要求及び借主が出したる費用の償還請求は何時迄に請求せざるときは消滅するや……………(第六二二條)……一〇八九

### 第八節 雇傭

(問題索引) 債權編 契約



- ◎ 雇傭とは如何なることぞ……………(第六二三條)……………一〇九二
- 小僧、下女、乳母奉公は雇傭契約なるや……………一〇九一
- 人力車に乗るは雇傭契約なるや……………一〇九一
- (参考判例) 篤と人物見定の上—本人持逃げ致候節—藝妓營業  
不作爲の契約—妾の雇傭契約……………一〇九一
- ◎ 勞務者の報酬は如何なる時期に於て受取ることを得るや……………(第六二四條)……………一一〇二
- ◎ 使用者は勞務者の承諾なく其權利を他人に讓渡す事を得るや……………(第六二五條)……………一一〇三
- 勞務者は自己の代りに他人をして勞務を爲さしむる事を得るや……………一一〇四
- ◎ 雇傭契約は何時解約を申込みことを得るや……………(第六二六條)……………一一〇四
- ◎ 期間を定めたる雇傭契約は何時にても解約を爲すことを得るや……………(第六二七條)……………一一〇九
- ◎ 當事者は雇傭期間中如何なる場合あるも契約の解除を爲すことを得ざるや……………(第六二八條)……………一一一〇
- 雇傭の期間満了したる後に尙ほ勞務者が引續き其勞務に服する  
場合に於て其使用者が之を知りながら異議を述べざるときは前  
の雇傭と同一の條件にて更に雇傭を爲したるものと推定せらる

- ◎ 解雇に依り損害を受けたる者は之が賠償を要求することを得るや……………(第六二九條)……………一一二二
- ◎ 主人が破産したるときは小僧、番頭、手代等は其年中なると雖  
ども解約を爲すことを得るや……………(第六三一條)……………一一一四
- 此場合に損害賠償を請求することを得るや……………一一一四

### 第九節 請負

- ◎ 請負契約は何時より其效力を生ずるものなるや……………(第六三二條)……………一一一六
- ◎ 仕事賃は如何なる時期に支拂ふべきものなるや……………(第六三三條)……………一一二一
- 仕事賃の前拂を受けて引受けたる仕事に關し其材料の價格が騰  
貴したるときは注文者へ對して仕事賃の増加を請求し得るや……………一一二二
- (参考判例) 工事請負金の請求……………一一二二
- ◎ 注文者は注文したる物品に瑕疵あるときは如何にすべきや……………(第六三四條)……………一一二三
- ◎ 注文者は如何なる場合に於て契約の解除を爲すことを得るや……………(第六三五條)……………一一二五



- ◎如何なる場合に請負人は其瑕疵に對する責任を免がらんことを得るや……………(第六三六條)……………一一二八
- ◎請負人は幾年間瑕疵の擔保の責任を負ふや……………(第六三七條)……………一一二八
- ◎工事に關し幾年間瑕疵の責に任ずるや……………(第六三八條)……………一一三〇
- ◎契約に依り請負人の瑕疵に對する責任の期間を伸縮することを得るや……………(第六三九條)……………一一三二
- ◎請負人は特約に依り瑕疵擔保の責任を免がらんことを得るや……………(第六四〇條)……………一一三三
- ◎注文者は仕事半にして解約を爲すことを得るや……………(第六四一條)……………一一三三
- (參考判例) 請負人と下請負人—政府の工事
- ◎注文者が破産の宣告を受けたるときは請負契約は之を解除することを得るや……………(第六四二條)……………一一三六

### 第十節 委任

- ◎委任契約は何時より效力を生ずるや……………(第六四三條)……………一一三八
- (參考判例) 執達吏と依頼者との關係—取引仲買人の責任—無

#### 盡事の世話人

- ◎委任引受人(受任者)は如何なる義務を負ふや……………(第六四四條)……………一一四〇
- ◎委任引受人は委任事務の状況を報告する義務ありや……………(第六四五條)……………一一四一
- ◎委任引受人が委任事務に關し受取りたる金錢其他の物にても委任者に引渡すことを要するものなるや……………(第六四六條)……………一一四二
- ◎委任引受人が引渡を爲すべき金錢を消費したるときは之を賠償するのみならず利息を支拂ふものなるや……………(第六四七條)……………一一四三
- (參考判例) 受任者の受取たる金錢
- ◎委任引受人は勞務に相當なる報酬を受くる權利ありや……………(第六四八條)……………一一四五
- (參考判例) 辯護士と依頼者—成功謝金四百圓差上申候
- ◎委任引受け委任事務に要する費用の前拂を請求することを得るものなるや……………(第六四九條)……………一一四七
- ◎委任引受人は委任事務に付き支出したる費用及損害賠償を請求することを得るや……………(第六五〇條)……………一一四八
- ◎委任引受人は委任者をして相當の擔保を供せしむることを得る



- 委任引受人は委任事務處理の爲め損害を受けたるときは委任者に對し賠償を請求することを得るや……………一一四九
- 委任は何時にても解約することを得るや其れに因り損害を生じたるときは賠償を請求することを得るや……………(第六五一條)……………一一五〇
- (參考判例) 辯護士の解任—特約の效果
- 委任の解除に因り損害を受けたる者は之が賠償を求むることを得るや……………(第六五二條)……………一一五二
- 委任は如何なる場合に終了するや……………(第六五三條)……………一一五二
- 委任終了の場合に急迫なる事情あるときは委任引受人は如何なる義務ありや……………(第六五四條)……………一一五四
- 委任の終了は何時より效力ありや……………(第六五五條)……………一一五五
- 法律行為に非ざる委任とは如何なることを云ふや……………(第六五六條)……………一一五六

### 第十一節 寄託

- 寄託とは何ぞ……………一一五七
- 寄託契約は何時より其效力を生ずるや……………(第六五七條)……………一一五八
- 預り主は其預り物を使用し又は他人に預くることを得るや……………(第六五八條)……………一一五九
- (參考判例) 寄託者の指圖の效力
- 預り主は其預り物に付き如何なる注意を爲すべきや……………(第六五九條)……………一一六一
- 預り主は其預り物につき他人が訴を起し又は差押ありたるときは其依託主(預け主)に對して如何なる義務ありや……………(第六六〇條)……………一一六一
- 預り主は其預り物に付き損害を受けたるときは賠償を請求することを得るや……………(第六六一條)……………一一六二
- 依託主は返還の時期を定めたる場合と雖も何時にても返還を請求する權利ありや……………(第六六二條)……………一一六三
- 預り主は如何なる場合に返還することを要するや……………(第六六三條)……………一一六四
- 預り物の返還の場所に付き争あるときは如何なる場所に於て返還すべきものなるや……………(第六六四條)……………一一六五
- 預り主は預り物より生じたる果實をも返還すべきものなるや……………(第六六五條)……………一一六六



○預り主が預金を遣ひ込たるときは依託者に對し如何なる責任ありや……………一一六六

○預り主は如何なる場合に報酬を請求することを得るや……………一一六七

○預り主が預り物の保管費用の前拂を請求し得る権利ありや……………一一六七

○預り主が預り物の保管に必要な費用を出したるときは委託者に對し其利息を請求することを得るや……………一一六七

○預り主が預り物の保管に必要なりと認めて負擔したる債務を依託者は代りて辨濟する義務ありや……………一一六七

○預り主が特約に因り預り物を消費することを得る場合には預り主は何時にても其返還を請求し得るものなるや……………(第六六六條)一一六八

(參考判例) 記名有價證券と名義切換の委任狀—金錢の寄託……………一一六八

●組合とは何ぞ……………一一六九

○組合と會社との區別……………一一七〇

### 第十二節 組合

○民法上の組合と他の組合との別……………一一七〇

○民法上の組合と商法上の組合との別……………一一七一

○組合契約は何時より其效力を生ずるものなるや……………(第六六七條)一一七四

○勞務を出資と爲すことを得るや……………一一七五

○信用の如きものを出資と爲すことを得るや……………一一七五

○組合財産は組合員の共有に屬するや……………(第六六八條)一一七八

○組合員が出資を怠りたるときは利息を支拂ふ外損害を賠償すべきものなるや……………(第六六九條)一一七九

○組合の業務執行は如何なる方法に依るべきや……………(第六七〇條)一一八〇

(參考判例) 組合の業務執行者の權限……………一一八〇

○業務執行者は業務執行に付き如何なる權利義務ありや……………(第六七一條)一一八二

○如何なる場合に業務執行者は辭任又は解任を爲すことを得るや……………(第六七二條)一一八二

○組合員は何時にても業務及び組合財産の狀況を檢查することを得るや……………(第六七三條)一一八三

○組合の損益の分配は如何に爲すべきものなるや……………(第六七四條)一一八四

(問題索引) 債權編 契約



- ◎組合の債権者は組合各員に對し其權利を主張することを得るや(第六七五條)……………一一八五
- ◎組合は何時にても持分の分割を請求することを得るや……………(第六七六條)……………一一八六
- ◎組合の債務者は其組合員に對する債権あるを以て差引勘定を爲す  
ことを得るや……………(第六七七條)……………一一八七
- ◎如何なる場合に於て脱退することを得るや……………(第六七八條)……………一一八八
- ◎如何なる場合に組合員は脱退するものなるや……………(第六七九條)……………一一九〇
- ◎如何なる場合に於て組合員を除名せしむることを得るや……………(第六八〇條)……………一一九一
- ◎脱退したるときは脱退者の出資計算は如何にすべきや……………(第六八一條)……………一一九二
- ◎如何なる場合に組合は解散するや……………(第六八二條)……………一一九三
- ◎組合員は何時にても組合の解散を請求し得るや……………(第六八三條)……………一一九四
- ◎組合の解散に因り損害を受けたる者は之が賠償を請求し得るや(第六八四條)……………一一九七
- ◎組合が解散したるときは如何にして清算すべきものなるや……………(第六八五條)……………一一九八
- ◎清算人の數人あるときは如何なる方法に因りて清算行爲を爲すべ  
きや……………(第六八六條)……………一一九九
- ◎清算人の辭任改任の方法如何……………(第六八七條)……………一二〇〇

○清算人に選任せられたる組合員は其選任を辭することを得るや

- ……………(第六八七條)……………一二〇〇
- ◎清算人は如何なる職務権限ありや……………(第六八八條)……………一二〇〇

### 第十三節 終身定期金

- ◎終身定期金契約とは何ぞ……………(第六八九條)……………一二〇二
- 終身定期金の計算方法を問ふ……………(第六九〇條)……………一二〇四
- 如何なる場合に相手方は元本及利息の請求を爲すことを得るや……………(第六九一條)……………一二〇四
- 相手方が其返還物を提供するまでは自己の返還の履行を拒むこ  
とを得るや……………(第六九二條)……………一二〇五
- 如何なる場合に終身定期金契約は終了するものなるや……………(第六九三條)……………一二〇五
- 終身定期金の遺贈とは何ぞ……………(第六九四條)……………一二〇七

### 第十四節 和解



○和解契約は何時より其效力を生ずるものなりや……………(第六九五條)……………1208  
○和解の效力を説明すべし……………(第六九六條)……………1210

### 第三章 事務管理

◎事務管理とは何ぞ……………1211  
○義務なくして他人の事務を管理するものは如何なる義務ありや……………(第六九七條)……………1213  
○他人の身體名譽又は財産を免かれしむる爲め損害を生ぜしめたるときは之を賠償するの責ありや……………(第六九八條)……………1214  
○管理者は其管理を始めたることを遅滞なく本人に通知することを要するや……………(第六九九條)……………1215  
○如何なる場合まで管理を繼續するや……………(第七〇〇條)……………1217  
○管理者は本人に對し如何なる義務ありや……………(第七〇一條)……………1218  
○本人は事務管理者に對し如何なる義務ありや……………(第七〇二條)……………1220  
(参考判例) 買主の爲めの賣買代金の事情管理 他人の爲め株

金拂込

### 第四章 不當利得

◎不當利得とは何ぞ……………1221  
◎受くべき理由なく他人よりの財産又は勞務に依り利益を受け之が爲に他人に損失を及ぼしたるときは之を返還すべき義務ありや(第七〇三條)……………1224  
(参考判例) 確定判決に依る支拂金—金錢の消費—法律上原因の意義—冒認土地の抵當權—地代不支拂の土地の使用—債權讓渡人の不當利得—無効の借金の返済—公法人の不當利得—偽造株權の賣買—共有者の不當利得—水利組合の不當利得—利益の現存—不當配當の領得—國稅滯納處分の不當利得……………(第七〇四條)……………1223  
(参考判例) 約束手形に因る不當利得—不當利得金の債務の辨濟……………1223  
◎債務あらざることを承知しながら債務の辨濟として爲したる給付……………1223  
(問題索引) 債權編 事務管理 不當利得……………101



は取戻すことを得るや……………(第七〇五條)……………一二三五

(参考判例) 株式賣買の無効―本條の意義―債務存在不知の要件―權利株の買戻

◎辨濟期にあらざる債務を辨濟したるものは之を取戻すことを得るや……………(第七〇六條)……………一二三七

○債務者にあらざる者が誤りて他人の債務返還を爲したる場合に債權者が債務の辨濟と思ひ其債權證書を破り又は擔保を返却したる場合に於ても辨濟者は其返還を請求することを得るや……………(第七〇七條)……………一二三八

(参考判例) 證書毀滅の意義―第七〇七條の精神

○不法の原因例へば他人をして偽證を爲さしむる爲め金錢を與へたる場合に其目的を達せざるの故を以て其給付を取戻すことを得るや……………(第七〇八條)……………一二四〇

(参考判例) 賭博の爲めの給付―債權詐害の假裝賣買―選舉の運動費―贈賄金―詐欺取財の被害者―本條の適用―利息制限法違反の利息―所有名義の書換と登記抹消―假裝の賣買及び抵當

權詐欺取財の用に供せる金錢―權利株の賣買―制限外の利息支拂と約束手形―不法の原因の意義―不動産賣買の假裝

### 第五章 不法行爲

◎不法行爲とは何ぞ……………一二四五

◎他人の權利を侵害したる者は如何なる責任ありや……………(第七〇九條)……………一二四八

(参考判例) 賣買名義の抵當權―田家用堰水の使用―治療宜しきを失す―生活費の請求―看護用の請求―破産財團の損害―腕力の強制―土藏の取毀―特許權侵害―借家の失火―不當なる差押處分―強制執行の所有權侵害―不法の差押―株式會社の理事の過失―電氣事業者の不法行爲―公道の損壞―人の妻の強姦―國の權力行爲―詐欺に因る不法行爲―不法の船舶差押―差押物と執達吏の責任―不法の差押―債權者の過失―共有者の不法行爲―隣地立木の伐採―糶賣の妨害―不法行爲過失の程度―娼妓情死の幫助―自殺の幫助―不法行爲と損害賠償責任―親權者の

(問題索引) 債權編 不法行爲



不法行為—夫の妻に對する不法行為—堤防増築工事—損害賠償額の算定—負傷者の損害賠償額算定—職務執行—過失の程度—電氣事業—棉花貨車と鐵道業—注意の程度—地蔵尊の損壞—損害賠償の範圍—酷似の登録商標—重過失の意義—電車の不法行為—損害豫防の義務—不法行為の損害賠償程度—他人の物の差押—破産申請に依る不法行為—公道通行

◎身體の自由名譽を害せられたるとき如何なる標準に依りて損害を要求することを得るや……………(第七一〇條)……………一二六九

(參考判例) 姦夫の慰籍料支拂—不實の告訴—父祖傳來の財産喪失—名譽の毀損—自働車の運轉—新聞社の責任—名譽の損害程度—死屍半燒の遺棄

◎生命を害せられるもの、父母配偶者及び子は財産を害せられたる場合に於て損害賠償の請求を爲し得るや……………(第七一一條)……………一二七〇

(參考判例) 抱娼妓の虐待—葬式費用……………(第七一二條)……………一二七〇

(參考判例) 監督不行届の責任

◎狂人其他の心神喪失者の不法行為に對する責任如何……………(第七一三條)……………一二七六

○不法行為を爲さんと欲し故更に泥酔したる者に對しては如何……………一二七七

◎無能力者の監督人は無能力者が不法行為に因り他人に加へたる損害を賠償する責任ありや……………(第七一四條)……………一二七七

◎職工、小僧、抱車夫等が業務執行中他人に損害を加へたるときは其主人は損害を賠償する責任ありや……………(第七一五條)……………一二八〇

(參考判例) 電氣會社の使用人の過失—新聞社の責任—駈者の責任—事業家と其被用人—使用漁夫の過失—使用者の立證責任—國家と個人との關係—會社の損害賠償の責任—土木請負業者の工事責任

◎注文者は其請負人が其仕事に付し他人に加へたる損害を賠償すべきものなるや……………(第七一六條)……………一二八八

◎瓦壁が墜落して人を傷け塀堤が倒れて人に損害を及ぼしたるときは其占有者又は所有者は賠償の責に任すべきや……………(第七一七條)……………一二八八



- ◎牛、馬、犬、猫等の動物が他人に損害を負はしめたるときは其飼主は賠償の責任ありや……………(第七一八條)……………一二九二
- ◎數人の共暴者あるときは何人に對して損害賠償を求むべきや……………(第七一九條)……………一二九五
- 教唆者及び幫助者も不法行為の責任ありや……………一二九六
- ◎正當防衛の執行中他人に損害を加へたるときは何人が責任を負ふや……………(第七二〇條)……………一二九六
- ◎胎兒は損害賠償請求權に付き既に生まれたるものと看做することを得るや……………(第七二一條)……………一二九八
- ◎被害者にも過失ありたるときは裁判所は其損害賠償額を定むるに斟酌すべきや……………(第七二二條)……………一二九九
- (參考判例) 鑛業家の不法行為—裁判所の職權—公金費消—電車運轉手の注意……………(第七二三條)……………一三〇一
- ◎名譽を毀損せられたるものは損害賠償の外に新聞廣告に謝罪せしむることを得るや……………(第七二三條)……………一三〇一
- (參考判例) 類似商標の使用—名譽毀損の標準—名譽の意義……………(第七二三條)……………一三〇一
- ◎不法行為に依り生じたる損害賠償の要求權は幾年行はざるに依り消滅するや……………(第七二四條)……………一三〇三

### 第四編 親族

#### 第一章 總則

- ◎親族の必要を説明すべし……………一三〇四
- ◎親族の種別を問ふ……………一三〇六
- 血族、尊屬親、卑屬親、準血族、配偶者、姻族とは如何……………一三〇六
- ◎親族とは如何なるものを云ふや……………(第七二五條)……………一三〇八
- ◎親等は如何にして計算するや……………(第七二六條)……………一三〇九
- ◎準血族とは如何……………(第七二七條)……………一三一
- ◎繼父繼子及嫡母と庶子との關係如何……………(第七二八條)……………一三一二
- (參考判例) 寡婦の私生子—戸内結婚と子との關係—養子と戸主の母との婚姻—私生子と其母の夫……………一三一二



- ◎親族の關係は如何なる時消滅するや……………(第七二九條)……………一三一四
- ◎養子の離縁に依りて親族關係の消滅する場合を説明すべし……………(第七三〇條)……………一三一五
- ◎生存配偶者又は養親が本家相續若くは分家廢絶家再興の爲め其家を去りたるときは其親族關係は消滅せざるや……………(第七三一條)……………一三一六  
(参考判例) 長男の分家と親族關係

## 第二章 戸主及びひ家族

- ◎家とは何ぞ、戸主とは何ぞ……………一三一七

### 第一節 總則

- ◎家族たるべき者は如何なる者ぞ……………(第七三二條)……………一三一九
- ◎父母共に知れざる子は一家を創立すべきものなるや……………(第七三三條)……………一三二〇
- ◎出生前父其家を去りたるとき又は父母共に其家を去りたるときは其子は何れの家に入るや……………(第七三四條)……………一三二一
- ◎家族の庶子及び私生子は戸主の同意を得ざれば其家に入ることを得ざるや……………(第七三五條)……………一三二二
- ◎入夫は其家の戸主となるや……………(第七三六條)……………一三二三
- ◎轉籍するときは如何にすべきや……………(第七三七條)……………一三二四

- 婚姻又は養子縁組に因りて他家に入りたる者が自己の親族を婚家又は養家の家族と爲さんと欲するときは如何なる手續を要するや……………(第七三八條)……………一三二五
- ◎實家へ復籍する場合如何……………(第七三九條)……………一三二六
- ◎實家へ復籍すること能はざるものは如何にすべきや……………(第七四〇條)……………一三二七

- ◎婚姻又は養子縁組により他家へ入らんとするときは如何にすべきや……………(第七四一條)……………一三二七
- ◎離籍せられたる家族は如何にすべきや……………(第七四二條)……………一三二八
- ◎他家相續、分家、廢絶家再興の要件を問ふ……………(第七四三條)……………一三二九  
(参考判例) 分家の契約―分家行爲の性質
- ◎家督相續人は他家へ入り又は一家を創立することを得ざるや……………(第七四四條)……………一三三一  
(参考判例) 本條の性質―家督相續人の離籍



◎夫が他家に入り又は一家を創立したるときは妻は當然其家に入るべきや……………(第七四五條)……………一三三二

### 第二節 戸主及びひ家族の權利義務

◎氏とは何ぞ……………(第七四六條)……………一三三三

◎戸主は如何なる義務ありや……………(第七四七條)……………一三三四

◎家族は自分の財産を特有することを得るや……………(第七四八條)……………一三三四

○戸主の財産か家族の財産か分明ならざるものは何人の財産と推定せらるるや……………一三三四

◎家族は戸主の意に反して居所を定むることを得るや、戸主は此場合に如何なる權利ありや……………(第七四九條)……………一三三五

(参考判例) 戸主の扶養停止と離婚―推定家督相續人と離婚權―  
―繼子の虐待―家族の身分登記―戸主の家族の居所指定權  
◎家族が婚姻又は養子縁組を爲すに當りて戸主の同意を得ざると雖も之を爲すことを得るや……………(第七五〇條)……………一三三八

◎戸主が未成年者又は禁治産者なる場合の如き其權利を行ふこと能はざるときは如何にすべきや……………(第七五一條)……………一三四〇

### 第三節 戸主權の喪失

◎如何なる場合に隠居を爲すことを得るや……………(第七五二條)……………一三四二

○強ひて隠居せしむることを得るや……………一三四三

○負債を免るるために隠居を爲すことを得るや……………一三四三

◎疾病本家相續其他已むを得ざる事由あるときは六十歳にならざるも隠居することを得るや……………(第七五三條)……………一三四三

◎婚姻に因り他家へ入らんと欲する者は如何にして隠居をなすことを得るや……………(第七五四條)……………一三四四

◎女戸主が隠居を爲すには如何にするや……………(第七五五條)……………一三四五

◎無能力者も隠居することを得るや……………(第七五六條)……………一三四六

◎隠居は何時に效力を發生するや……………(第七五七條)……………一三四七

◎如何なる場合に隠居を取消すことを得るや……………(第七五八條)……………一三四七

(問題索引) 親族編 戸主及びひ家族



- ◎詐欺若くは強迫に依る隠居は何人より取消の請求をなすべきや(第七五九條)……………一三四八
- ◎戸主となりたる故之を信用して金を貸したる者は其後隠居の取消に遭ひ戸主たる地位を失ひたる場合に於て其隠居より戸主に復したる者に對し貸金を請求することを得るや……………(第七六〇條)……………一三五〇
- ◎隠居及入夫婚姻に因る戸主權喪失を第三者に對抗するには如何なる手續を要するや……………(第七六一條)……………一三五二
- (參考判例) 隠居又は入夫婚姻の通知―戸主喪失通知と債權者……………(第七六二條)……………一三五四
- ◎如何なる場合に廢家することを得るや……………(第七六三條)……………一三五五
- ◎戸主が廢家したる場合に其家族は如何にすべきや……………(第七六四條)……………一三五六
- ◎絶家の場合如何……………

### 第三章 婚姻

◎婚姻とは何ぞ……………一三五六

#### 第一節 婚姻の成立

○許婚は法律上如何なる效力ありや……………一三五七

○親の威光で婚姻をせしむることを得るや……………一三五八  
○婚姻の要件を問ふ……………一三五八

#### 第一款 婚姻の要件

- ◎男子は何年女子は何年にして婚姻爲すことを得るや……………(第七六五條)……………一三五九
- ◎妻ある者重れて妻を娶ることを得るや……………(第七六六條)……………一三六〇
- ◎女は何故に六ヶ月を経過せざれば再婚することを得ざるや……………(第七六七條)……………一三六〇
- ◎姦通に因り離婚されたる以上は姦通者と結婚することを得るや(第七六八條)……………一三六一
- ◎從兄弟は互に婚姻を爲すを得るや、戸内婚姻とは何ぞ……………(第七六九條)……………一三六二
- ◎妻を離婚したる後先妻の母と婚姻を爲し又は先妻が他家に在りたる際に生みたる子と婚姻なすことを得るや……………(第七七〇條)……………一三六三
- ◎養親と嘗て養子の妻となりたる者と婚姻することを得るや……………(第七七一條)……………一六四三
- ◎父母の同意せざる婚姻をなすことを得るや……………(第七七二條)……………一三六四
- ◎男女滿何年に達すれば父母の同意を要せざるや……………
- ◎繼父母又は嫡母が子の婚姻を同意せざるときは如何にすべきや(第七七三條)……………一三六六

(問題索引) 親族編 婚姻



- 禁治産者は後見人の同意なくして婚姻を爲すことを得るや……………(第七七四條)……………一三六七
- 婚姻は何時より效力を生ずるや……………(第七七五條)……………一三六七
- 内縁の妻は法律上妻たる資格を有せざるや……………(第七七六條)……………一三六八
- 婚姻の届出に對する戸籍吏の義務如何……………(第七七六條)……………一三六八
- 外國に在る日本人間に於て婚姻を爲すには其届出は如何にすべき……………(第七七七條)……………一三六九

### 第二款 婚姻の無効及び取消

- 婚姻は如何なる場合に無効となるや……………(第七七八條)……………一三七〇
- (参考判例) 假裝の婚姻—届出當時の合意—夫婦年齢の相違と  
 婦の不行跡……………(第七七九條)……………一三七三
- 婚姻は如何なる場合に取消さるるや……………(第七八〇條)……………一三七三
- 婚姻の取消權を有する者は何人なるや……………(第七八一條)……………一三七五
- 婚姻の取消權は如何なる場合に消滅するや……………(第七八二條)……………一三七五
- 違法の再婚は取消すことを得べきや……………(第七八三條)……………一三七五

- 婚姻に同意權を有する者は其同意權を與へざる婚姻を取消すことを得べきや……………(第七八三條)……………一三七六
- 同意權を有する者の取消權は何時に消滅するや……………(第七八四條)……………一三七七
- 詐欺又は強迫に因り婚姻を爲したる者が何時迄取消權を有するや……………(第七八五條)……………一三七八
- 婿養子縁組の場合に於て其縁組の無効又は取消ありたるときは其家女との間の婚姻の取消を請求することを得るや……………(第七八六條)……………一三七八
- 婚姻の取消は何時より效力を生ずるや……………(第七八七條)……………一三八〇
- 婚姻に因り財産を得たる者は婚姻の取消に因り其財産を返還する限度如何……………(第七八八條)……………一三八一

### 第二節 婚姻の效力

- 妻は婚姻に因りて夫の家に入るべきものなるや、入夫及び婿養子は妻の家に入るべきものなるや……………(第七八八條)……………一三八三
- 夫婦同居の義務を説明すべし……………(第七八九條)……………一三八三



- (参考判例) 別居の請求—夫権と戸主権
- 夫婦扶養の義務を説明すべし……………(第七九〇條)……………一三八四
- 妻の後見人は夫なるべきや……………(第七九一條)……………一三八五
- (参考判例) 妻の後見人
- 夫婦間の契約は何時にても一方より取消すことを得べきや……………(第七九二條)……………一三八六

### 第三節 夫婦財産制

#### 第一款 總則

- 夫婦の財産につき婚姻届出に別段の契約を定めざるときは如何なる規定を適用せらるるや……………(第七九三條)……………一三八七
- 夫婦の財産につき豫め契約を爲したるときは婚姻の届出までに登記を爲す必要如何……………(第七九四條)……………一三八八
- 外國人が日本人となりたる場合に夫婦財産契約の登記は何年の内に之を爲さざれば効力なきや……………(第七九五條)……………一三八九

- 夫婦の財産關係を婚姻届出後之を變更することを得るや……………(第七九六條)……………一三九〇
- 夫が管理の失當に因り自己の財産を危くしたるときは妻は如何なる請求を爲すことを得るや……………一三九一
- 夫婦財産契約は登記することを要するや……………(第七九七條)……………一三九一

#### 第二款 法定財産制

- 法定財産制とは何ぞ……………一三九二
- 夫婦の生活其他の費用は何人の負擔すべきものなるや……………(第七九八條)……………一三九三
- 夫は妻の財産を使用し及び収益を爲す権利ありや……………(第七九九條)……………一三九四
- 夫又は女戸主が配偶者の財産につき支出したる費用及び其財産に附屬せしめたのたる物に付きては如何なる権利義務ありや……………(第八〇〇條)……………一三九五
- 妻の財産は何人が管理すべきや……………(第八〇一條)……………一三九六
- 夫が妻の財産を處分するに付き妻の同意を得る場合如何……………(第八〇二條)……………一三九七
- 夫が妻の財産を管理するに付き擔保を供する場合ありや……………(第八〇三條)……………一三九七
- 日常の家事に付き妻は夫の代理人たるべきや……………(第八〇四條)……………一三九八



- ◎夫婦は如何なる注意を以て配偶者の財産に對すれば可なるや……(第八〇五條)……一三九九
- ◎夫婦の代理權消滅の場合に於ける法律關係を問ふ……(第八〇六條)……一三九九
- ◎妻が自己の名に於て得たる財産は自己のものなるや……(第八〇七條)……一四〇〇
- ◎若し夫婦何れのものなるや分明ならざるときは何れの財産となるや……一四〇〇

### 第四節 離婚

#### 第一款 協議上の離婚

- ◎協議上離婚とは何ぞ……(第八〇八條)……一四〇二
- ◎夫婦の意思に反し強ひて離婚なましむることを得るや……一四〇二
- ◎離婚を爲すに父母若くは後見人親族會の同意を要するや……(第八〇九條)……一四〇二
- ◎禁治産者が離婚を爲すには其後見人の同意を要すべきや……(第八一〇條)……一四〇三
- ◎戸籍吏は離婚の届出に關し如何なる注意を爲すべきや……(第八一一條)……一四〇四
- ◎離婚の場合に子の監護は何人が爲すべきや……(第八一二條)……一四〇五

#### 第二款 裁判上の離婚

- ◎裁判上離婚とは何ぞ……(第八一三條)……一四〇八
- ◎如何なる場合に離婚の訴を起すことを得るや……一四〇八
- (参考判例) 悪意の遺棄 夫の非行―離婚判決の效力―一時の憤怒―夫の冷酷―同居に堪へざる虐待―慰籍料の請求―妻の逃亡―墮胎の告訴―妻の姦通家出の言觸―妻家出と夫と妻―妻の不行跡―詐欺師、芋蟲同様の悪口―先妻との情交―文書偽造罪の告訴―姦通の告訴
- ◎配偶者又は其直系尊屬の不法行為に對する同意又は宥恕を與へたるときは離婚の訴權を消滅するや……(第八一四條)……一四一八
- ◎破廉恥罪の刑に處せられたる者は他の一方に同一の行為ありたるを理由として離婚の訴を提起することを得るや……(第八一五條)……一四一八
- ◎離婚の提起は幾年行はざるに因り消滅するや……(第八一六條)……一四一九
- ◎配偶者の生死不分明に依る離婚の訴權は生死分明になりたると



- きは消滅するものなりや……………(第八一七條)……一四二〇
- 離縁又は縁組取消の請求に附帶して離婚の請求を爲すことを得るや……………(第八一八條)……一四二〇
- 裁判上の離婚の場合に裁判所は子の監護に付き適當と認むる處分を命ずることを得るや……………(第八一九條)……一四二一

### 第四章 親子

#### 第一節 實子

- 實子とは何ぞ……………一四二三
- 嫡出子・庶子・私生子とは何ぞ……………一四三三

#### 第一款 嫡出子

- 婚姻成立の日より二百日後又は婚姻の解消若くは取消の時より三百日以内に生れたる子は何人の子なるや……………(第八二〇條)……一四二四

- 前夫の子なるか後夫の子なるか明ならざる場合に於ては如何にして之を定むべきや……………(第八二一條)……一四二五
- 夫は子の嫡出なることを否認し得るや……………(第八二二條)……一四二六  
(参考判例) 戸籍面の嫡出子―親族權の侵害
- 夫が子を否認するには如何にして爲すべきや……………(第八二三條)……一四二八
- 夫が一旦子の嫡出たることを承認したる後に於ても否認する事を得るや……………(第八二四條)……一四二九
- 否認の訴は何年の内に提起するを要するや……………(第八二五條)……一四三〇
- 夫が未成年者又は禁治産者なるときは其年限如何……………(第八二六條)……一四三〇

#### 第二款 庶子及び私生子

- 認知とは何ぞ……………(第八二七條)……一四三三
- 無能力者が私生子を認知するには法定代理人の同意を要せざるや……………(第八二八條)……一四三四
- 私生子認知の方式如何……………(第八二九條)……一四三四



- ◎成年の子を認知するには如何にすべきや……………(第八三〇條)……………一四三五
- ◎胎内の子若くは死亡したる子を認知する事を得るや……………(第八三一條)……………一四三七
- ◎認知の効力は何時より生ずるや……………(第八三二條)……………一四三九
- (参考判例) 私生子認知の効力と扶養義務
- ◎一旦爲したる認知を取消すことを得るや……………(第八三三條)……………一四四一
- ◎子其他の利害關係人は認知に對し反對の事實を主張すること得るや……………(第八三四條)……………一四四一
- ◎子又は其直系卑屬又は是等の法定代理人は父又は母に對し認知を請求し得るや……………(第八三五條)……………一四四二
- (参考判例) 私生子認知の訴と立證方法―法定代理人の私生子認知請求の資格
- ◎庶子、私生子が嫡出子となる場合如何……………(第八三六條)……………一四四四
- (参考判例) 甲乙間の相續順位

### 第二節 養子

#### 第一款 縁組の要件

- ◎養子とは何ぞ……………一四四六
- ◎養子制度を認むる理由如何……………一四四六
- ◎未成年者も養子を貰ふことを得るや……………(第八三七條)……………一四四八
- ◎年長者又は尊屬を養子と爲すことを得るや……………(第八三八條)……………一四四九
- 弟、庶子私生子を改めて養子と爲すことを得るや……………(第八三九條)……………一四五〇
- ◎男子ある者は養子を爲すことを得るや……………(第八四〇條)……………一四五一
- ◎何故に後見人は被後見人を養子と爲すことを得ざるや……………(第八四一條)……………一四五二
- ◎妻が不服なるにも拘らず獨斷にて養子を貰ふことを得るや……………(第八四二條)……………一四五三
- ◎夫婦の一方が意思を表示すること能はざるときは如何にすべきや……………(第八四三條)……………一四五四
- ◎養子となるべき者が十五年以下なるとき何人が縁組の承諾を爲すや……………(第八四四條)……………一四五四
- ◎後見人は被後見人を養子に遺ることを得るや……………(第八四五條)……………一四五五



- 養子となり養子を爲すには父母の同意を要するや……………(第八四四條)……………一四五五
- 婚姻又は縁組に依り他家に入りたるものは更に他家の養子となる  
ときは實家に在る父母の同意を要するや……………(第八四五號)……………一四五六
- 養子縁組に父母が疾病其他の事由に依り意見を發表すること能は  
ざるときは如何にすべきや……………(第八四六條)……………一四五七
- 繼父、繼母が意地悪く其子の縁組を妨げたるときは如何にすべ  
きや……………一四五七
- 禁治産者は縁組を爲すに後見人の同意を要するや……………(第八四七條)……………一四五七
- 遺言を以て養子を爲すことを得るや、此場合に於ては遺言執行者  
は如何にすべきものなるや……………(第八四八條)……………一四五八
- 養子縁組の届出に關し戸籍吏は如何なる注意を爲すべき義務あり  
や……………(第八四九條)……………一四六〇
- 外國にある日本人の縁組は何人へ届出べきや……………(第八五〇條)……………一四六一

### 第二款 縁組の無効及び取消

- 如何なる場合に縁組を無効とせらるるや……………(第八五一條)……………一四六二
- 如何なる場合に養子縁組は取消さるるや……………(第八五二條)……………一四六三
- 成年に達させる者が養子を爲したるときは之を取消することを得  
るや……………(第八五三條)……………一四六四
- 尊屬親又は年長者を養子と爲したるときは之を取消することを得  
るや……………(第八五四條)……………一四六五
- 家督相續人ある者が女婿の爲めにあらずして男子を養子とした  
るときは之を取消することを得るや……………一四六五
- 後見人が被後見人を養子と爲したるときは之を取消することを  
得るや……………(第八五五條)……………一四六六
- 配偶者の同意なくして縁組を爲したるときは之を取消することを  
得るや……………(第八五六條)……………一四六七
- 父母又は之に代るべき者の同意なくして縁組を爲したるときは  
之を取消することを得るや……………(第八五七條)……………一四六九
- 婿養子縁組の場合に於て其婚姻無効となり又は取消されたと



きは之を取消すことを得るや……………(第八五八條)……………一四七〇  
 ○詐欺又は強迫に依りて縁組をしたるときは之を取消すことを得るや……………(第八五九條)……………一四七一

### 第二款 縁組の效力

○養子縁組に因り如何なる效力を生ずるや……………一四七三  
 ○養子は縁組の日より嫡出子たる身分を取得するものなるや……………(第八六〇條)……………一四七四  
 ○私生子又は庶子を更に自己の養子と爲すことを得るや、右の場合に於て其私生子又は庶子は嫡出子たる身分を取得するものなるや……………一四七四  
 ○養子は縁組に因りて養親の家に入るべきものなるや……………(第八六一條)……………一四七五

### 第四款 離縁

○養子は相談合で離縁することを得るや……………(第八六二條)……………一四七六  
 ○養子が十五歳未満なるとき離縁の相談は何人がなすべきや……………一四七七  
 ○養親が死亡せる時は何人を相手にして離縁の相談をなすや……………(第八六二條)……………一四七八  
 ○離縁の相談を爲すには何人の同意を要するや……………(第八六三條)……………一四七八  
 ○禁治産者は離縁相談を爲すことを得ざるや……………(第八六四條)……………一四七九  
 ○離縁届出に關し戸籍吏の義務如何……………(第八六五條)……………一四八一  
 ○如何なる場合に裁判所に訴へて離縁することを得るや……………(第八六六條)……………一四八二  
 ○十五歳未満の養子は何人が離縁の訴を起すべきや、又禁治産者の離縁の訴は何人がなすべきや……………(第八六七條)……………一四八六  
 ○養子、養親の一方が其一方の苛酷の行爲を勘辨したるときは最早離縁の訴を提起することを得ざるや……………(第八六八條)……………一四八七  
 ○處刑を受けたる者は他の一方に對し離縁の訴を提起することを得ざるや……………(第八六九條)……………一四八八  
 ○離縁の訴權は何年行はざるに因り消滅するものなるや……………(第八七〇條)……………一四八九  
 ○養子が逃亡して三年以上歸らざることと事由とせる離縁の訴權は何年行はざるに因り消滅するものなるや……………(第八七一條)……………一四九〇  
 ○養子の生死が三年以上不明なることを事由とせる離縁の訴權……………一四九〇



- は何年行はざるときは消滅するや……………(第八七二條)……………一四九〇
- 婚養子縁組の離婚又は婚姻の取消ありたる場合に於ける離縁の訴権は何ヶ月を経過すれば之れを提起することを得ざるや……………(第八七三條)……………一四九一
- 養子は戸主となりたる後に於て離縁を爲すことを得るや……………(第八七四條)……………一四九二
- 養子が離縁に因り實家に歸りたるときは元の身分を回復するものなるや……………(第八七五條)……………一四九三
- 夫婦養子の場合に妻のみ離縁されたる場合に其夫は如何にすべきや……………(第八七六條)……………一四九四

### 第五章 親權

- 親權とは何ぞ……………一四九五
- 親權を認むる理由を問ふ……………一四九六

#### 第一節 總則

- 子は獨立の生活を立つるに到るも親權に服せざるを得ざるや……………(第八七七條)……………一四九七

(参考判例) 母の親權—親權なき實父—繼父の親權—準禁治產者と相續

- 繼父繼母又は嫡母が親權を行ふ場合には如何なる規定に従ふべきや……………(第八七八條)……………一四九九

#### 第二節 親權の效力

- 未成年者の監護教育は何人が爲す義務ありや……………(第八七九條)……………一五〇一
- (参考判例) 親權者の監護權
- 子が父又は母の意見に反して随意に居住を定むることを得るや……………(第八八〇條)……………一五〇二
- 戸主の意見と親の意見と異なるときは何れの意見に従ふべきや……………一五〇三
- 未成年者が兵役を出願するには父母の許可を要するや……………(第八八一條)……………一五〇三
- 親權を行ふ父又は母は如何なる範圍まで子を懲戒することを得るや……………(第八八二條)……………一五〇四
- 未成年の子は父母の許可を得ずして勝手に職業を營むことを得ざるや……………(第八八三條)……………一五〇六



- 子の財産は何人が管理するや……………(第八八四條)……………一五〇七
- 未成年の子の配偶者の財産は何人が管理すべきや……………(第八八五條)……………一五〇九
- 母が親権を行ふに親族會の同意を要する場合如何……………(第八八六條)……………一五〇九
- 前條の規定に違反して爲したる行爲は何人が之を取消す事を得べきや……………(第八八七條)……………一五一一
- 親権を行ふ者と子と利益相反するとき若くは子の一人と他の子の利益相反する行爲を爲すには如何にすべきや……………(第八八八條)……………一五一一
- (参考判例) 本條の精神—無償單純の贈與
- 親権を行ふ父母は其子の財産管理に付き如何なる義務ありや……………(第八八九條)……………一五一五
- 子が成年に達したるときは親権を行ひたる父又は母は其管理の計算を爲さざるべからざるや……………(第八九〇條)……………一五一六
- 無償にて子に或財産を與へたるものは養育料を親に負擔せしむること主張することを得るや……………(第八九一條)……………一五一八
- 無償にて子に財産を與ふる者が其子の親権を行ふ父母をして管理せしめざることを得るや……………(第八九二條)……………一五一九

- 親の財産管理權が消滅したる後と雖も尙ほ子の財産の爲めに相當處置を爲さざるべからざるや……………(第八九三條)……………一五二〇
- 親が子の財産管理より生じたる債權は何年行はざるときは時效に因り消滅するものなるや……………(第八九四條)……………一五二一
- 未成年者が戸主權又は親権を行ふものたるときは如何にすべきや……………(第八九五條)……………一五二三

### 第二節 親權の喪失

- 親權の喪失とは如何なる場合なるや……………一五二四
- 父又は母が親權を濫用し又は著しき不行跡あるときは親權喪失を裁判所へ請求することを得るや……………(第八九六條)……………一五二五
- (参考判例) 親族會の同意を得ざる母の借財—親權濫用—改心せる相續者—母の私通—母の改心
- 親が子の財産を危くしたるときは裁判所は子の親族又は檢事の請求に依り親の財産管理權の喪失を命ずることを得るや……………(第八九七條)……………一五二八



○親権喪失の宣告を取消すことを得るや……………(第八九八條)……………一五二九  
○親権を勝手に抛棄することを得るや……………(第八九九條)……………一五二九

### 第六章 後見

○後見の制度を説明すべし……………一五三〇

#### 第一節 後見の開始

○如何なる場合に後見を附する必要ありや……………(第九〇〇條)……………一五三〇

#### 第二節 後見の機關

##### 第一款 後見人

○未成年者の第一順位の後見人たるべきものは誰れぞ……………(第九〇一條)……………一五三六  
○遺言を以て後見人を指定することを得るや……………一五三七  
○母のあるにも拘らず後見人を定むるを得るや……………一五三七

○禁治産者の第一順位の後見人たるべきものは誰れぞ……………(第九〇二條)……………一五三八  
○戸主の後見人となるべき場合を問ふ……………(第九〇三條)……………一五三九  
○如何なる場合に限り親族會にて後見人を選定するや……………(第九〇四條)……………一五四〇  
○如何なる場合に父母又は後見人は親族會を招集する義務ありや……………(第九〇五條)……………一五四〇  
○二人以上の後見人を設くることを得るや……………(第九〇六條)……………一五四一  
○如何なる場合に後見人たる義務を辭することを得るや……………(第九〇七條)……………一五四一  
○如何なる者は後見人となることを得ざるや……………(第九〇八條)……………一五四四  
○保佐人に關して後見人の規定を準用すべきものなるや……………(第九〇九條)……………一五四五

##### 第二款 後見監督人

○後見監督人とは何ぞ……………一五四六  
○遺言を以て後見監督人を定むることを得るや……………(第九一〇條)……………一五四七  
○後見監督人は如何なる場合に選任するや……………(第九一一條)……………一五四八  
○後見監督人が缺けたるときは如何にすべきや……………(第九一二條)……………一五四九  
○後見人の更迭ありたるときは必ず後見監督人も改選するを要す……………一五五〇



- 後見監督人となることを得ざる者は誰れぞ……………(第九一三條)……………一五五〇
- 後見監督人は如何なる任務を爲すや……………(第九一四條)……………一五五一
- 後見監督人が職務を處理する場合に要する注意の程度如何……………(第九一六條)……………一五五三

### 第二節 後見の事務

- 後見人は何月内に財産目録の調製を爲すべきや……………(第九一七條)……………一五五六
- 後見人は如何なる義務権限ありや……………(第九一八條)……………一五五九
- 後見人が被後見人に對する債權債務あるときは後見人の財産調査に著手する前に於て後見監督人に申出でざるべからざるや……………(第九一九條)……………一五六〇
- 後見監督人の立會を以て財産の調査を爲すべき場合を問ふ……………(第九二〇條)……………一五六一
- 後見人は未成年者の被後見人に對し親權を行ふことを得るや……………(第九二一條)……………一五六二
- 如何なる場合に被後見人は後見人の爲したる行爲を取消すことを得るや…………………………一五六二

- 後見人が被後見人の身上に對し如何なる義務ありや……………(第九二二條)……………一五六三
- 後見人は財産に關し被後見人を代表するものなりや……………(第九二三條)……………一五六四
- 後見人は親族會の同意を得て豫じめ一年内に於ける被後見人の生活費、教育、療養、看護及び財産の管理の爲めに費用を定むる義務ありや……………(第九二四條)……………一五六六
- 後見人は報酬を受くることを得るや……………(第九二五條)……………一五六七
- 後見人は財産管理人を使用することを得るや……………(第九二六條)……………一五六七
- 親族會は後見人をして受取りたる金額が何程の額に達すれば之を預け入れせしむべきものなるや……………(第九二七條)……………一五六八
- 後見人は毎年少なくとも一回は被後見人の財産の状況を親族會に報告することを要するや……………(第九二八條)……………一五七〇
- 如何なる場合に後見人は親族會の同意を要すべきものなるや……………(第九二九條)……………一五七〇
- 如何なる場合に被後見人は後見人の爲したる行爲を取消すことを得るや……………(第九三〇條)……………一五七二



- ◎後見人が被後見人の財産を貸借するには親族會の同意を要するや……………(第九三一條)……………一五七三
- ◎後見人が任務を曠くしたる場合は如何にすべきや……………(第九三二條)……………一五七三
- ◎後見人をして豫じめ擔保を供せしむることを得るや……………(第九三三條)……………一五七四
- ◎後見人は被後見人の戸主權を行ふことを得るや……………(第九三四條)……………一二五六
- ◎財産のみに關し後見人の必要ある場合を問ふ……………(第九三五條)……………一五七六
- ◎其他の後見人の責任を問ふ……………(第九三六條)……………一五七七

### 第四節 後見の終了

- ◎後見人の任務が終了したるときは何ヶ月内に其計算を爲すべきものなるや……………(第九三七條)……………一五七八
- ◎後見の計算は後見監督人の立會を以て之を爲すべきものなるや……………(第九三八條)……………一五八〇
- ◎後見終了前に後見人と被後見人との間に爲したる財産契約は之を取消すことを得べきや……………(第九三九條)……………一五八一

- 後見人が自己の爲めに被後見人の金錢を費消したるときは如何なる責任ありや……………(第九四〇條)……………一五八二
- 後見終了後に於ても尙ほ後見人が事務を處理する場合ありや(第九四一條)……………一五八三
- 後見人後見監督人又は親族會員と後見人との貸借は何年行はざるときは消滅すべきや……………(第九四二條)……………一五八四
- 保佐人又は親族會員と準禁治產者との間に保佐に關して生じたる債權は何年之を行はざるときは消滅するや……………(第九四三條)……………一五八五

## 第七章 親族會

- ◎親族會は何故に必要ありや…………………………一五八六
- ◎親族會は何人が如何にして招集すべきや……………(第九四四條)……………一五八七
- 親族の相談會は親族會と云ふことを得べきや…………………………一五八八
- 如何なる場合に親族會を要するや…………………………一五八八
- ◎親族會は如何なる者より組織せらるるや……………(第九四五條)……………一五九五
- 親族會員の選定は如何にして之を爲すものなるや…………………………一五九六



- 遺言を以て親族會員を選定することを得るや……………一五九七
- 如何なる者は親族會員たるを得ざるや……………(第九四六條)……………一五九七
- 親族會の決議の方法を問ふ……………(第九四七條)……………一六〇〇
- 親族會員に非ざる者が親族會の議事に列することを得るや……………(第九四八條)……………一六〇一
- 無能力者の爲めに設けたる親族會は何時迄繼續すべきものなるや……………(第九四九條)……………一六〇二
- 親族會に缺員を生じたる場合に其補缺の方法如何……………(第九五〇條)……………一六〇三
- 親族會の決議に不服なる者は其不服を裁判所へ訴ふることを得るや……………(第九五一條)……………一六〇三
- 親族會に於て決議すること能はざるときは如何にすべきや……………(第九五二條)……………一六〇六
- 親族會員の責任を問ふ……………(第九五三條)……………一六〇八

### 第八章 扶養の義務

- 扶養の義務とは何ぞ……………一六〇九
- 如何なる必要により扶養の義務を設くるや……………一六〇九
- 親子爺婆孫及び兄弟姉妹は互に扶養の義務ありや……………(第九五四條)……………一六一〇
- 養子に遣りたる子と其實家の祖父母との間にも扶養の義務ありや……………一六一〇
- 他家に嫁したる女と其夫の父母との間又は他家に入夫となりたる男と其妻の父母との間に扶養の義務ありや……………一六一二
- 叔父叔母と甥姪との間に扶養の義務ありや……………一六一二
- 扶養の義務を負ふ者數人あるときは如何なる者より其義務を履行すべきや……………(第九五五條)……………一六一四
- 同順位にある扶養義務者が數人ある場合に於て何れが先にすべきや……………(第九五六條)……………一六一五
- 扶養の義務を受くる者數人あるときは何人が先に其扶養を受くるや……………(第九五七條)……………一六一六
- 同順位にある扶養の義務を受くる者が數人ある場合に於て何れが先に扶養を請求する権利ありや……………(第九五八條)……………一六一八
- 如何なる程度まで困窮する者は扶養を請求することを得るや……………(第九五九條)……………一六一九



- ◎困窮に迫りたる度毎に扶養し遣りたる者は最早余に於て扶養の義務なしといふ事を得るや……………(第九六〇條)……………一六二一
- ◎扶養して貰ふ者が扶養方法に付き不服なるときは裁判所に適當の方法を定むることを得るや……………(第九六一條)……………一六二二
- ◎扶養の程度に更變を生じたるときは其判決の變更又は取消を請求し得べきや……………(第九六二條)……………一六二二
- ◎扶養を受くる權利を他に讓渡すことを得るや……………(第九六三條)……………一六二四

### 第五編 相續

#### 第一章 家督相續

##### 第一節 總則

- ◎何故に相續法を設くるや……………一六二五
- ◎家督相續とは何ぞ……………一六二八

- ◎家督相續は如何なる場合に起るや……………(第九六四條)……………一六三〇
- ◎家督相續の場所如何……………(第九六五條)……………一六三二
- ◎家督相續人が相續の回復を請求する權利は何年間之を有するや(第九六六條)……………一六三二
- ◎相續費用は何人の負擔となるや……………(第九六七條)……………一六三三

##### 第二節 家督相續人

- ◎家督相續人は如何なる條件を必要とするや……………(第九六八條)……………一六三五
  - 胎兒は家督相續權を有するや……………(第九六九條)……………一六三六
  - ◎家督相續人は如何なる順序に於て相續すべきや、父は其子供中より勝手に家督相續すべきものを指定することを得るや……………(第九七〇條)……………一六三九
  - 庶子、私生子に家督相續に付き如何なる順序を有するや……………一六四一
  - 養子は家督相續につき如何なる順位を有するや……………一六四一
  - ◎女戸主が入夫婚姻をなしたるときは女戸主は隱居なすべきや(第九七一條)……………一六四二
- (參考判例) 入夫婚姻に因る家督の相續



- ◎ 始め甲家に生まれ一旦去りて乙家に入り又甲家に復したる者の相續の順位如何……………(第九七二條)……………一六四三
- ◎ 弟は姉婿の爲めに家督相續權を譲らざるべからざるや……………(第九七三條)……………一六四四
- 養嗣子を爲したる後男子出生すれば其實子と其養子とは孰れが相續權ありや……………一六四五
- ◎ 父が家督相續權を有し未だ家督相續を爲さざる内に死亡したるときは其子は家督相續に付き如何なる順位を有するや……………(第九七四條)……………一六四六
- (参考判例) 六歳の家督相續人―營業嫌忌―被廢除者の幸福―家督相續人の分家―廢嫡の理由―身體の虛弱―學事修業―婿養子約束―家督相續人の僧侶―家督相續人の不具者―家督相續人の家出―魚商の習得―意思能力なき幼者―正當の事由―浪費者家督相續人の養子
- ◎ 如何なる事由に依り家督相續人を廢嫡することを得るや……………(第九七五條)……………一六四七
- 遺言を以て推定家督相續人を廢嫡することを得るや……………(第九七六條)……………一六五八
- 推定家督相續人廢除の取消は如何なる場合に如何なる手續を爲すべきや……………(第九七七條)……………一六五七

- 廢嫡又は廢嫡取消の手續中相續の開始ありたるときは如何にすべきや……………(第九七八條)……………一六五九
- ◎ 如何なる場合に家督を相續すべき人を指定することを得るや……………(第九七九條)……………一六六一
- 一旦家督を相續すべき人を指定したる後推定家督相續人あるに至りたるときは先の推定家督相續人は效力を失ふや……………一六六一
- 家督相續人の指定及び取消は如何なるときより效力ありや……………(第九八〇條)……………一六六二
- 遺言に依り家督相續人の選定を爲し又は其指定を取消することを得るや……………(第九八一條)……………一六六三
- 如何なる場合に家督相續人を選定する必要ありや……………(第九八二條)……………一六六四
- (参考判例) 家督相續人選定の順序―親族會の決議
- 相當の事由あるときは家督相續人の順序を變更することを得るや……………(第九八三條)……………一六六九
- 選定家督相續人なきときは如何なる者が家督相續人となるや……………(第九八四條)……………一六七〇
- 他人を家督相續人に選定することを得るや……………(第九八五條)……………一六七二



### 第三節 家督相續の效力

- ◎家督相續人は如何なる權利義務を受繼ぐべきや……………(第九八六條)……………一六七五
- ◎系譜、祭具、墳墓は其家族の共有なりや又は戸主の所有なりや(第九八七條)……………一六七七
- ◎隠居は隠居料として相續財産以外に取除け置くことを得るや、其手續如何……………(第九八八條)……………一六七七
- 女戸主が入夫婚姻を爲したる場合に自分の財産を自分の物として留保するには如何なる方法に依るや……………一六七七
- ◎隠居は隠居したることを理由として前戸主たりしときに負擔したる借金を返済せざることを得るや……………(第九八九條)……………一六八〇
- 國籍喪失に因て家督相續したる者は如何なる權利義務あり……………(第九九〇條)……………一六八一
- 國籍喪失に因る家督相續人に對する債權者の權利如何……………(第九九一條)……………一六八二

## 第二章 遺産相續

- ◎遺産相續と家督相續との差異如何……………一六八三
- ◎遺産相續は如何なる場合に生ずるや……………(第九九二條)……………一六八四
- ◎遺産相續の場合に如何なる程度に於て家督相續の規定が準用せらるゝや……………(第九九三條)……………一六八五

### 第一節 總則

#### 第二節 遺産相續人

- ◎如何なる者が遺産相續人なるや……………(第九九四條)……………一六八六
- ◎父が死亡したるとき其子は父が遺産を相續すべき順位を受繼ぐことを得るや……………(第九九五條)……………一六八七
- ◎遺産を相續すべき子なきときは其遺産は何人が相續すべきや……………(第九九六條)……………一六八八
- 妻が夫の遺産を相續する場合如何……………一六八九



- 戸主が家族の遺産を相続する場合如何……………一六八九
- 如何なる場合に遺産相続人たる資格を失ふや……………(第九九七條)……………一六八九
- 如何なる場合に遺産相続人を廢除することを得るや……………(第九九八條)……………一六九一
- 被相続人は何時にても遺産相続人の廢除の請求を爲し得るものなりや……………(第九九九條)……………一六九二
- 如何なる方法に依り遺産相続人の廢除又は取消を爲すものなりや……………(第一〇〇〇條)……………一六九三

### 第三節 遺産相続の效力

#### 第一款 總則

- 遺産相続人は如何なる権利義務を承継するや……………(第一〇〇一條)……………一六九四
- 遺産相続人が數人ありたるときは其遺産は共有となるや……………(第一〇〇二條)……………一六九五
- 數人の遺産相続人ある時は如何なる割合にて被相続人の権利を承継するものなりや……………(第一〇〇三條)……………一六九六

#### 第二款 相続分

- 相続人數人ありたる場合に其相続分如何……………(第一〇〇四條)……………一六九八
- 庶子、私生子の相続分如何…………………………一六九八
- 親が死亡したる場合には其子は祖父の遺産を相続すべきものなりや……………(第一〇〇五條)……………一六九九
- 被相続人は自分勝手に相続分を定むることを得るや……………(第一〇〇六條)……………一七〇〇
- 嫁したる者養子に行きたる者又は分家したる者も遺産につき相続分ありや……………(第一〇〇七條)……………一七〇二
- 遺産相続人が數人ある場合に被相続人より遺贈を受けたる者又は婚姻、養子縁組、分家、廢絶家再興の爲め若くは生計の資本として贈與を受けたる者の相続分は如何にして定むるや…………………………一七〇三
- 贈與價額の算定標準如何…………………………(第一〇〇八條)……………一七〇七
- 相続分を分割前に他人へ譲渡することを得るや…………………………(第一〇〇九條)……………一七〇八

(問題索引) 相続編 遺産相続



### 第二款 遺産の分割

- 遺言を以て遺産の分割方法を定むることを得るや……………(第一〇一〇條)……………一七二〇
- 遺言を以て遺産の分割を禁ずることを得るや……………(第一〇一一條)……………一七一〇
- 遺産の分割は何時より効力あるや……………(第一〇一二條)……………一七二二
- 數人遺産相續人ある場合に於ける各相續人の間の權利義務を問ふ……………(第一〇一三條)……………一七二三
- 各遺産相續人は被相續人の債權に付き其分割の持分に依り其債權を分割するものなるや……………(第一〇一四條)……………一七二四
- 共同相續人中償還を爲す資力なき者あるときは其償還するのと能はざる部分は他の資力ある相續人に於て分擔せざるべからざるや、其割合部分如何……………(第一〇一五條)……………一七二六
- 遺言を以て特別の意思を表示したるときは之に従ふべきものなるや……………(第一〇一六條)……………一七二七

## 第三章 相續の承認及び拋棄

○相續の承認及び拋棄とは何ぞ……………一七一八

### 第一節 總則

- 如何なる期間内に相續の承認拋棄を爲すべきや……………(第一〇一七條)……………一七二〇
- 相續人が承認又は拋棄を爲さずして死亡したるときは其相續人は何時迄に其相續の承認又は拋棄を決定すべきものなるや……………(第一〇一八條)……………一七二三
- 相續人無能力なる場合の期間起算點如何……………(條一〇一九條)……………一七二三
- 家督相續人は家督相續權を拋棄することを得るや……………(第一〇二〇條)……………一七二四
- 相續人の定まらざる相續財産は何人が管理すべきや……………(第一〇二一條)……………一七二五
- 一旦相續の承認及び拋棄を爲したる後に之を取消すことを得べきや……………(第一〇二二條)……………一七二六



## 第二節 承認

### 第一款 單純承認

○相續の單純承認とは何ぞ……………(第一〇二三條)……………一七二八

○法律上單純承認と看做すべき場合を問ふ……………(第一〇二四條)……………一七二九

### 第二款 限定承認

○限定承認とは何ぞ……………(第一〇二五條)……………一七三三

○相續人に相續財産のみを以て債務を辨濟し自己の固有財産を出捐せざることを得るや……………(第一〇二六條)……………一七三四

○限定承認を爲すには如何なる手續を要するや……………(第一〇二七條)……………一七三六

○相續人が限定相續を爲したる場合に於て被相續人に對し債權を有するものは如何なる地位に於て其債權を主張し得るや……………(第一〇二八條)……………一七三七

○相續の限定承認を爲したる者は債務を辨濟するには如何にすべきや……………(第一〇二九條)……………一七三八

○限定承認者は相續債權者に對し如何なる抗辯を爲し得るや……………(第一〇三〇條)……………一七四二

○限定相續の財産に付き債權者數人ありたるときは其配當方法は如何にすべきや……………(第一〇三一條)……………一七四三

○相續限定承認を爲したるに其債務を辨濟するに期限前の債權、條件附債權又は存續不確定債權を辨濟するには如何なる方法に依るや……………(第一〇三二條)……………一七四四

○相續債權者と遺贈を受けたるときは何れを先に辨濟するや……………(第一〇三三條)……………一七四五

○辨濟を爲すに付き相續財産の賣却は如何にすべきや……………(第一〇三四條)……………一七四六

○相續債權者及び受遺者は相續財産の競賣又は鑑定に参加する事を得るや……………(第一〇三五條)……………一七四七

○限定相續人が法律に定めたる一定の公告又は催告を爲さるときは如何なる制裁を受くるや……………(第一〇三六條)……………一七四九

(問題索引) 相續の承認及び拋棄



○公告期間後現れたる債権者及び受遺者は如何なる財産に付其  
権利を主張し得るや……………(第一〇三七條)……………一七五一

### 第二節 抛棄

○相續の抛棄を爲さんと欲する者は如何にして爲すべきや……………(第一〇三八條)……………一七五二  
○相續の抛棄は何時より效力を生ずるや……………(第一〇三九條)……………一七五四  
○相續を抛棄したる者の財産管理の責任は何時迄有するものな  
るや……………(第一〇四〇條)……………一七五六

## 第四章 財産の分離

○相續財産の債権者又は遺贈を受けたる者は相續財産と相續人の  
固有財産との分離を請求することを得るや……………(第一〇四一條)……………一七五九  
○財産分離を請求せしめたる者は如何なる権利ありや……………(第一〇四二條)……………一七六四  
○分離財産につき何人が管理すべきや……………(第一〇四三條)……………一七六五  
○相續人は單純承認を爲したる後と雖も財産分離の請求ありた

るときは爾後其固有財産に於ける同一の注意を以て相續財産  
の管理を爲すことを要するや……………(第一〇四四條)……………一七六六

○不動産に付き財産の分離を登記する必要如何……………(第一〇四五條)……………一七六七

○相續財産分離の場合に於ける債権者及び受遺者の権利を問ふ

……………(第一〇四六條)……………一七六八

○財産分離ありたる場合に於ける辨済方法を問ふ……………(第一〇四七條)……………一七六九

○財産分離を請求したる者及び配當加入を申出でたる者が相續  
財産を以て全部の辨済を受くること得ざるときは相續人の

固有財産に付き権利を行ふことを得るや……………(第一〇四八條)……………一七七〇

○相續人は財産分離の請求を防止し又は其效力を消滅せしむる  
ことを得るや……………(第一〇四九條)……………一七七一

○相續人の債権者は相續人の意思に反して財産分離の請求を爲  
すことを得るや……………(第一〇五〇條)……………一七七三

## 第五章 相續人の曠缺

(問題索引) 相續編 財産の分離 相續人の曠缺



- 相續人分明ならざるときは相續財産は加何にすべきや……………(第一〇五一條)……………一七七五
- 相續財産の管理人は何人が選任すべきや……………(第一〇五二條)……………一七七七
- 管理人は如何なる義務ありや……………(第一〇五三條)……………一七七八
- 管理人は相續債権者又は受遺者の請求あるときは之に相續財産の状況を報告すべき義務ありや……………(第一〇五四條)……………一七七八
- 相續人が分明になりたる場合には如何に爲すべきや……………(第一〇五五條)……………一七七九
- 管理人の代理權は如何なる場合に消滅するや……………(第一〇五六條)……………一七八〇
- 相續財産管理人の清算手續は如何にすべきものなるや……………(第一〇五七條)……………一七八一
- 相續人分明ならざるときは搜索のために一定の期間公告を爲すべきものなるや……………(第一〇五八條)……………一七八二
- 如何なる場合に相續財産は國庫に歸屬するものなるや……………(第一〇五九條)……………一七八三

### 第六章 遺言

#### 第一節 總則

- 遺言は如何なる方式を要するや……………(第一〇六〇條)……………一七八七
- 何年以上にあらざれば遺言をなす能力を得ざるや……………(第一〇六一條)……………一七八七
- 未成年者は遺言を爲すに其法定代理人の同意を要するや……………(第一〇六二〇)……………一七八八
- 禁治産者は遺言を爲す能力なきや…………………………一七八八
- 準禁治産者は遺言を爲すに保佐人の同意を要するや…………………………一七八九
- 妻は遺言を爲すに夫の許可を要するや…………………………一七八九
- 遺言を爲す能力は何時有することを要するや……………(第一〇六三條)……………一七八九
- 遺言を以て自己財産を隨意に處分することを得るや……………(第一〇六四條)……………一七九一
- 胎兒と雖も遺贈を受くる資格ありや……………(第一〇六五條)……………一七九一
- 如何なる場合に遺言は禁示せらるるや……………(第一〇六六條)……………一七九二

#### 第二節 遺言の方式

##### 第一款 普通方式

- 遺言を爲すには如何なる方式ありや……………(第一〇六七條)……………一七九五

(問題索引) 相續編 相續人の曠缺



- 自筆證書の遺言を爲すには如何なる方法に依るや……………(第一〇六八條)……………一七九五
- 公正證書に依る遺言の方式を問ふ……………(第一〇六九條)……………一七九九
- 秘密證書に依る遺言の方式を問ふ……………(第一〇七〇條)……………一八〇四
- 秘密證書として效力なきも私書證書として有效なれば其證書は私書證書として有效となるべきや……………(第一〇七一條)……………一八〇八
- 啞者の秘密遺言を爲すときの要件を問ふ……………(第一〇七二條)……………一八一
- 禁治産者が遺言を爲すには如何なる方式に依るものなるや(第一〇七三條)……………一八一
- 如何なる者は遺言證人又は立會人となることを得ざるや……………(第一〇七四條)……………一八一三
- 同一の證書に依り二人以上に遺言を爲す事を得るや……………(第一〇七五條)……………一八一五

### 第一款 特別方式

- 族病其他の理由に依り死亡危急の場合の要件を問ふ……………(第一〇七六條)……………一八一七
- 傳染病の爲め行通を遮断されたる場合に於て遺言を爲すには如何なる方法を執るべきや……………(第一〇七七條)……………一八二一
- 從軍中軍人、軍屬が遺言を爲すには如何なる方式に依るや(第一〇七八條)……………一八二三

- 從軍中死亡危急に迫りたる軍人、軍屬の爲すべき遺言は如何にすべきや……………(第一〇七九條)……………一八二五
- 艦船中に有りて遺言を爲すものは如何なる方式に依るや……………(第一〇八〇條)……………一八二八
- 難船中の遺言の方式を問ふ……………(第一〇八一條)……………一八二九
- 遺言者、筆者、立會人及び證人は各自遺言書に署名捺印すべきものなるや……………(第一〇八二條)……………一八二九
- 遺言者が無筆者又は實印を携帯せず又紛失したる者は如何にすべきや……………(第一〇八三條)……………一八三〇
- 特別遺言の方式に準用すべき規定を問ふ……………(第一〇八四條)……………一八三〇
- 特別方式に依りて爲したる遺言は普通の方式に依りて遺言を爲すに至りたる時は六ヶ月間生存することは無効となるべきものなるや……………(第一〇八五條)……………一八三一
- 外國に在る日本人は如何にして遺言を爲すべきや……………(第一〇八六條)……………一八三二

### 第三節 遺言の效力

(問題索引) 相続編 遺言



- ◎遺言は何時より效力を生ずるや……………(第一〇八七條)……………一八三六
- ◎遺贈は抛棄することを得るや……………(第一〇八八條)……………一〇三九
- ◎利害關係人は遺贈を受くる者に對し其遺贈を承認するか又は抛棄するかを催告し得るや……………(第一〇八九條)……………一八四二
- ◎遺言を受くる者が遺贈を承認又は抛棄を爲さずして死亡したるときは其相續人は之を受くる権利ありや……………(第一〇九〇條)……………一八四四
- ◎一旦遺贈を承認若くは抛棄したるときは之を取消すことを得るや……………(第一〇九一條)……………一八四五
- ◎遺贈を受くる者は如何なる権利義務ありや……………(第一〇九二條)……………一八四六
- ◎遺贈を受くる者が遺贈義務者に擔保を請求し得る場合如何……………(第一〇九三條)……………一八四七
- ◎遺贈を受けたる物は何時より果實を取得することを知るや……………(第一〇九四條)……………一八四八
- ◎遺贈義務者が其遺贈物の爲にしたる費用の償還を受遺者に對し請求し得るものなりや……………(第一〇九五條)……………一八五〇
- ◎如何なる場合に遺贈の效力を失ふや……………(第一〇九六條)……………一八五一
- ◎遺贈が效力を失ひたるときは其財産は何人の所有となるや……………(第一〇九七條)……………一八五三

- ◎他人の物を遺贈したる遺贈は效力ありや……………(第一〇九八條)……………一八五四
- ◎他人の物を遺贈することを得るや、此場合遺贈義務者は如何にすべきや……………(第一〇九九條)……………一八五五
- ◎遺贈義務者は遺贈物を盗難に遭ひたるときは遺贈を受くるものに對して如何なる責任ありや……………(第一一〇〇條)……………一八五七
- ◎遺贈物に付き他人に償金を請求する権利あるときは其物の遺贈を受けたる者は其権利を行ふことを得るや……………(第一一〇一條)……………一八五八
- ◎抵當付の儘の地所の遺贈を受けたる者は遺贈義務者に對し之を取除を請求することを得るや……………(第一一〇二條)……………一八六〇
- ◎借金債權の遺贈を受けたれども既に其借金が取立てられたる場合に何等の權利なきや……………(第一一〇三條)……………一八六一
- ◎負擔附の遺贈を受けたる者は如何なる義務ありや……………(第一一〇四條)……………一八六二
- ◎負擔附の遺贈の目的物が價格を減少したるときは遺贈義務者は……………



其儘之を受遺者に引渡し義務を免るるがことを得るや……………(第一一〇五條)……………一八六三

一六〇

#### 第四節 遺言の執行

- 遺言書の保管者は相續開始したるときは如何すにべきや……………(第一一〇六條)……………一八六六
- 封印ある遺言書を勝手に破り見ることを得るや……………(第一一〇七條)……………一八六七
- 遺言者は遺言を以て一人若くは數人の遺言執行者を指定することを得るや……………(第一一〇八條)……………一八六八
- 遺言執行者が就職を承諾したるときは直に其任務を行ふべきものなるや……………(第一一〇九條)……………一八七一
- 遺言執行者を頼まれたる者に對し利害關係ある者は其就職を承諾するや否やを催告することを得るものなりや……………(第一一一〇條)……………一八七一
- 遺言執行者となること能はざる者は如何なる者ぞ……………(第一一一一條)……………一八七五
- 裁判所は如何なる場合に遺言執行者を選任するや……………(第一一二條)……………一八七六
- 遺言執行者は如何なる任務ありや……………(第一一三條)……………一八八一
- 遺言執行者は如何なる權利義務ありや……………(第一一四條)……………一八八二

- 遺言執行者ある場合に於て相續人は相續財産を處分することを得るや……………(第一一一五條)……………一八八四
- 特定財産に付き遺言ありたる場合には如何なる手續を爲すものなるや……………(第一一一六條)……………一八八五
- 遺言執行者之を相續人の法定代理人と看做すべきものなるや……………(第一一一七條)……………一八八六
- 遺言執行者は他人をして遺言を執行せしむることを得るや……………(第一一一八條)……………一八八七
- 數人の遺言執行者ある場合には如何にして執行するや……………(第一一九條)……………一八八八
- 遺言執行者は報酬を受くることを得るや……………(第一二〇條)……………一八九〇
- 遺言執行者は如何なる場合に親任又は辭任する事を得るや……………(第一二一條)……………一八九一
- 遺言執行者は其任務を終了したるときと雖も急迫の事情あるときは其相續人又は次の遺言執行者の任務を處理するに至るまで尙ほ任務を繼續するものなるや……………(第一二二條)……………一八九二
- 遺言執行に要する費用は何人の負擔なるや……………(第一二三條)……………一八九三



### 第五節 遺言の取消

- 遺言者は何時にても遺言を取消し得べきものなるや……………(第一一二四條)……………一八九六
- 前の遺言と後の遺言と抵觸したるときは何れを真正のものとするや……………(第一一二五條)……………一八九七
- 遺言者が故更に遺言書を毀滅し若しくは遺贈物を毀滅したるときは如何に看做さるるや……………(第一一二六條)……………一九〇〇
- 一旦爲したる遺言を取消し又は其取消の行爲を取消したるときは前の遺言は效力を回復するや若し取消の行爲が詐欺強迫に出でたる場合如何……………(第一一二七條)……………一九〇一
- 遺言者は豫じめ遺言を取消さぬことを約することを得るや(第一一二八條)……………一九〇三
- 相続人が遺言を取消し得る場合如何……………(第一一二九條)……………一九〇四

### 第七章 遺留分

- 遺留分とは何ぞ……………(第一一三〇條)……………一九〇五
- 法定家督相続人如何なる割合に遺留分を受ける権利ありや(第一一三〇條)……………一九〇八
- 遺産相続人は如何なる割合に遺留分を受ける権利ありや……………(第一一三一條)……………一九〇八
- 遺留分算定方法如何……………(第一一三二條)……………一九一〇
- 何年前の贈與は遺留分権利者より減殺を請求せらるゝことありや……………(第一一三三條)……………一九一七
- 如何なる場合に於て遺贈又は贈與を減殺することを得るや……………(第一一三四條)……………一九一八
- 條件附権利又は存続期間の不確定なる権利の贈與又は遺贈の目的を減殺したるときは遺留分権利者は其殘部を受贈者又は受遺者に給付することを要するや……………(第一一三五條)……………一九二三
- 遺贈と贈與とは何れが先に減殺を受くるや……………(第一一三六條)……………一九二六
- 如何なる順序如何なる方法に依りて遺贈贈與を減殺するや……………(第一一三七條)……………一九二七
- 贈與は如何なる順序に依り減殺せらるべきや……………(第一一三八條)……………一九二八
- 減殺の請求を受けたる受贈者は其元本は勿論減殺請求以後の利息をも返還すべきものなるや……………(第一一三九條)……………一九三〇



- 減殺を受くべき者が無資力より生じたる損失は何人の負擔なるや……………(第一一四〇條)……………一九三一
- 負擔附贈與の場合に於て減殺を爲す標準如何……………(第一一四一條)……………一九三二
- 不當の代價を以て賣買を爲したるものは贈與と看做さるゝや……………(第一一四二條)……………一九三三
- 減殺を受くべき受贈者が贈與物を他人に譲渡したるときは遺留分權利者に對し如何なる責任ありや……………(第一一四三條)……………一九三四
- 減殺を受くべき者が其減殺物の返還を免かるる方法如何……………(第一一四四條)……………一九三五
- 減殺を請求すべき權利は何年間行はざるときは消滅するや……………(第一一四五條)……………一九三七
- 相續人の子又は孫に於ても遺留分を受くるものなるや……………(第一一四六條)……………一九一六
- 庶子、私生子は如何なる割合に遺留分を受くるものなるや…………………………一九三八

# (書式文例索引)

## 第一編 總 則

- 未成年者の行爲追認催告書……………六一……………二五三
- 未成年者行爲追認催告書に對する答書六二…………………………二五三

## 第二編 物 權

- 果實の返還及其代價の償還請求の訴二九九…………………………四〇〇
- 占有保持の訴……………三〇九……………四〇五
- 占有保全の訴……………三一二……………四〇八
- 占有回收の訴……………三一五……………四一八
- 隣地使用請求書……………三三一……………四二五
- 引水(排水又は貯水)工作物修繕請求書……………三三八……………四四一
- 竹木の剪除請求書……………三五一……………四四六
- 建物建築變更又は廢止請求書……………三五三…………………………
- 地上權設定契約書……………三八六…………………………
- 永小作權設定契約書…………………………四〇〇
- 永小作權設定の土地賃貸借契約書…………………………四〇五
- 永小作權讓渡契約書…………………………四〇八
- 通行地役權設定契約書…………………………四一八
- 用水地役權設定契約書…………………………四二五
- 留置場の必要費償還請求書…………………………四四一
- 配當要求權に先取特權ある旨の申立書(其一)…………………………四四六
- 配當要求權に先取特權ある旨の申立書(其二)…………………………四五六

(書式文例索引)



◎ 配當要求權に先取特権ある旨の申立書(其三).....	四六七	◎ 抵當權讓渡通知書(其一).....	五五〇
◎ 動産轉質契約書.....	四九四	◎ 抵當權讓渡通知書(其二).....	五五一
◎ 動産質權設定契約書.....	四九九	◎ 抵當物の代價辨濟請求書.....	五五三
◎ 質物を以て辨濟に充る請求通知書.....	五〇三	◎ 抵當物の代價辨濟の通知書.....	五五四
◎ 抵當權設定契約書(其一).....	五二四	◎ 抵當權實行の通知書.....	五五八
◎ 抵當權設定契約書(其二).....	五二六	◎ 抵當權滌除の書面.....	五六二
◎ 抵當權設定契約書(其三).....	五二八	◎ 増價競賣請求書.....	五六五
◎ 地所及建物抵當金借用證書.....	五三〇	◎ 不動産競賣の申立.....	五六七
◎ 抵當權設定契約書(其四).....	五三一	◎ 増價競賣請求の通知書(其一).....	五七〇
◎ 抵當權設定契約書(其五).....	五三二	◎ 増價競賣請求の通知書(其二).....	五七一
◎ 抵當權の順位讓渡契約書.....	五三三	◎ 抵當物の競落に付き地代指定の訴.....	五七五
◎ 抵當權拋棄書.....	五四五	◎ 抵當權者に損害を及ぼす貸借の解除の訴.....	五八四
◎ 抵當權順位拋棄書.....	五四六	◎ 抵當權消滅の承認及び抵當權登記抹消の請求の訴.....	五八六
◎ 抵當權を抵當とする金圓借用證書.....	五四六		
◎ 抵當權讓渡契約書.....	五四八		

第二編 債權

(一) 債務の履行に關する書式文例

◎ 利息支拂の催告及元本に組入通知書六一一	六三一	◎ 不作爲の債務に付ての作爲の除却及び處分の申立.....	六三五
◎ 強制履行を許さる作爲の債務に關する履行の申立.....	六三一	◎ 債務の不履行に因る損害賠償請求の訴.....	六三九
◎ 強制履行を許さる法律行爲を目的とする債務に關する履行の申立.....	六三二	◎ 詐害行爲取消の訴.....	六六〇

(二) 連帶債務と保證債務に關する書式文例

◎ 連帶借用金契約書(其一).....	六八三	◎ 保證債務履行の請求に對する抗辯書(其一).....	七一九
◎ 連帶借用金證書(其二).....	六八五	◎ 保證債務履行の請求に對する抗辯書(其二).....	七二二
◎ 連帶債務者間の通知書.....	六九九	◎ 保證債務履行の請求に對する抗辯書(其三).....	七二五
◎ 金錢貸借及び保證契約書(其一).....	七〇六		
◎ 金錢貸借及び保證契約書(其二).....	七〇七		
◎ 保證契約書.....	七〇八		
◎ 債務履行催告書.....	七一八		

(三) 債權の讓渡と辨濟に關する書式文例

(書式文例索引)



○無記名債權讓渡書……………	七四一	○辨濟の目的物競賣許可申請……………	七九三
○指名債權讓渡證書(其一)……………	七四五	○任意相殺契約書……………	八〇七
○指名債權讓渡證書(其二)……………	七四六	○債權相殺請求書……………	八一〇
○指名債權讓渡承諾書……………	七四六	○債務更改契約書(其一)……………	八一九
○指圖債權讓渡裏書……………	七五二	○債務更改契約書(其二)……………	八二一
○債權證書返還の請求書……………	七七四	○債務更改契約書(其三)……………	八二三
○辨濟提供の通知書(其一)……………	七八三	○債務免除證書……………	八二九
○辨濟提供の通知書(其二)……………	七八四		

(四) 契約の申込と承諾に関する書式文例

○契約申込證書……………	八三八	○契約申込取消書延著の通知書……………	八五一
○契約申込に對する承諾書……………	八三八	○契約不成立請求書……………	八五二
○承諾書延著の通知書……………	八四一	○申込變更承諾書……………	八五四
○契約成立承認請求書……………	八四二	○新なる契約申込の承諾書……………	八五五
○遅延の承認書に對する申込承諾書……………	八四四	○契約申込廣告……………	八五七
○契約申込の取消書……………	八四五	○申込取消廣告……………	八五九

(五) 契約の履行並に解除に関する書式文例

○双務契約履行拒絶書……………	八六七	○契約解除意思表示書……………	八九一
○契約目的物滅失の場合の履行請求の訴(其一)……………	八七四	○契約履行の催告書……………	八九三
○契約目的物滅失の場合の履行請求の訴(其二)……………	八七六	○契約解除の訴(其一)……………	八九四
○契約の利益享受の意思表示書……………	八八三	○契約解除の訴(其二)……………	八九四
○第三者に給付爲すべき契約書……………	八八四	○契約解除の訴(其三)……………	八九七
		○契約解除の訴(其四)……………	八九九
		○解除權行使催告書……………	九〇六

(六) 贈與賣買契約に関する書式文例

○贈與契約書(其一)……………	九一〇	○手附倍額償還賣買契約解除通知書……………	九三九
○贈與契約書(其二)……………	九一一	○賣買契約解除通知書(其一)……………	九五一
○賣買契約書(其一)……………	九二二	○賣買契約解除通知書(其二)……………	九六六
○賣買契約書(其二)……………	九二三	○賣買物代金支拂拒絶書……………	九七二
○賣買契約書(其三)……………	九二四	○抵當登記ある賣買物の代金支拂拒絶書……………	九七四
○賣買完結催告の催告書……………	九三四	○抵當權の滌除執行請求書……………	九七五
○賣渡豫約契約書……………	九三五	○賣買代金供託請求書……………	九七七
○豫約に付き賣買完結意思表示書……………	九三六	○不動産賣買契約及買戻特約書……………	九八〇
○手附抛棄賣買契約解除通知書……………	九三八		



◎不動産買戻特約書(其一)	九八二	◎不動産買戻特約書(其三)	九八八
◎不動産買戻特約書(其二)	九八六	◎交換契約書	九九五

(七) 貸借契約に関する書式文例

◎金銭貸借契約書	九九九	◎貸借契約解除の訴(其一)	一〇五一
◎金銭借用證書	一〇〇一	◎貸借物の必要費償還請求の訴	一〇五四
◎米穀消費貸借契約書	一〇〇二	◎借貸減額請求の訴(其一)	一〇五七
◎米穀借用證書	一〇〇三	◎貸借契約解除の訴(其二)	一〇六〇
◎消費貸借の目的物返還催告書	一〇一一	◎借貸減額請求の訴(其二)	一〇六三
◎使用貸借契約書	一〇一五	◎貸借契約解除の訴(其三)	一〇六五
◎器具借用證書	一〇一七	◎建物賃貸契約書	一〇六八
◎使用貸借契約解除通知書	一〇一九	◎賃貸借契約解除の訴(其四)	一〇六九
◎使用貸借目的物返還請求書(其一)	一〇二二	◎貸借物の修繕必要の通知書	一〇七五
◎使用貸借目的物返還請求書(其二)	一〇二四	◎貸借物に付権利主張者通知書	一〇七五
◎土地賃貸借契約書	一〇二九	◎賃貸借解約申込書	一〇八二
◎動産賃貸借契約書	一〇三一	◎賃貸借解約申込書(其一)	一〇八四
◎宅地賃貸借契約書	一〇三三	◎賃貸借解約申込書(其二)	一〇八八
◎建物賃貸借契約書	一〇三五		

(八) 雇傭、請負契約に関する書式文例

◎農業雇傭契約書	一〇九二	◎請負契約書(其一)	一一一六
◎工業雇傭契約書	一〇九四	◎請負契約書(其二)	一一二〇
◎商業見習雇傭契約書	一〇九七	◎瑕疵修補請求書	一一二四
◎雇傭契約解除豫告書	一〇一〇六	◎請負契約解除の訴	一一二六
◎雇傭契約解除通知書	一〇一〇七	◎工作物毀滅修補及損害賠償請求書	一一三一
◎雇傭契約解約申入書	一一一〇	◎請負解除通知書	一一三四
◎雇傭契約解除通知書	一一一一		

(九) 委任、組合、和解契約に関する書式文例

◎委任状	一一三九	◎終身定期契約書	一一〇三
◎組合契約書	一一七六	◎和解契約書	一一〇九
◎組合脱退通知書	一一八九	◎事務管理開始通知書	一一一六
◎組合解散請求の訴	一一九五		

(十) 不當利得、不法行為に関する書式文例

◎不當利得に因る利益返還請求の訴	一二二五	◎不法行為に因る損害賠償請求の訴	一二四九
------------------	------	------------------	------



- ◎無能力者の不法行為に因る損害賠償請求の訴……………一二七八
- ◎被用者不法行為に因る損害賠償請求の訴……………一二八二

#### 第四編 親族

- ◎隠居に因る戸主喪失通知書……………一三五二
- ◎離婚請求の訴……………一四一一
- ◎私生子認知の訴……………一四三六
- ◎離縁請求の訴……………一四八四
- ◎子の懲戒許可の申請……………一五〇五
- ◎後見人選任の親族會招集申請書……………一五八九
- ◎親族會員指名書……………一五九一
- ◎親族會招集の申請……………一五九二

- ◎工作物保存の瑕疵に因る損害賠償請求の訴……………一二九〇
- ◎動物の加へたる損害賠償請求の訴……………一二九三

- ◎親族會の招集を通知せらるべき者の指名書……………一五九四
- ◎親族會員辭任の申請……………一五九九
- ◎親族會の決議に對する取消の訴……………一六〇四
- ◎親族會の決議に代はるべき裁判所の申請……………一六〇七
- ◎扶養請求の訴……………一六一二

#### 第五編 相續

- ◎推定家督相續人廢除請求の訴……………一六五〇
- ◎法定の推定家督相續人廢除の遺

- 言書(其一)……………一六五七
- ◎家督相續人指定遺言書……………一六六三

- ◎家督相續人指定取消遺言書……………一六六四
- ◎家督相續人選定書(其一)……………一六六六
- ◎家督相續人選定書(其二)……………一六六七
- ◎家督相續人選定親族會決議書(其一)……………一六六七
- ◎家督相續人選定順序變更許可申請……………一六七〇
- ◎家督相續人選定親族會決議書(其二)……………一六七四
- ◎隠居者(又は女戸主)財産留保證書……………一六七九
- ◎推定の遺産相續人廢除の遺言書(其一)……………一六九一
- ◎相續の承認又は拋棄の期間伸長申請……………一七二一
- ◎相續限定承認の申述……………一七三五
- ◎限定承認及び債權請求申出の公告……………一七四〇

- ◎限定承認及び債權請求申出の催告……………一七四一
- ◎債權請求申出書……………一七四二
- ◎相續財産の競賣又は鑑定に参加請求書……………一七四八
- ◎相續拋棄の申述……………一七五三
- ◎相續財産分離請求の訴……………一七六一
- ◎相續財産分離及配當加入申出公告……………一七六三
- ◎相續財産分離配當加入申出書……………一七六三
- ◎遺言書(自筆證書)……………一七九八
- ◎遺言書(公正證書)……………一八〇二
- ◎遺言書(秘密證書)(其一)……………一八〇六
- ◎遺言書(秘密證書)(其二)……………一八一〇
- ◎遺言立會醫師の附記……………一八一三
- ◎遺言確認の申請……………一八一九
- ◎遺言書(特別方式)(其一)……………一八二〇
- ◎遺言書(特別方式)(其二)……………一八二二



◎遺言書(特別方式)……(其三)……………	一八二四	◎遺言執行者就職諾否の催告書……………	一八七三
◎遺言書(特別方式)……(其四)……………	一八二七	◎遺言執行者就職承諾通知書……………	一八七四
◎遺贈拋棄の意思表示書……………	一八四〇	◎遺言執行者就職不承諾通知書……………	一八七五
◎遺贈承認の意思表示書……………	一八四二	◎遺言執行者就職を拒む申立……………	一八七八
◎遺贈の承認又は拋棄催告書……………	一八四三	◎遺言執行者選任申請……………	一八七九
◎遺言執行者指定通知書……………	一六八九	◎遺言取消遺言書……………	一八九七
◎遺言執行者指定委託辭任通知書……………	一八七〇	◎遺贈減殺請求の訴……………	一九二一

# 民法要義

## 緒論

草踏み分けて知らぬ出路を登るにも、豫じめ其大體の有様や、此處彼處の説明を聞いて置く時は、大に目當があつて便利で安心で随つて道も抄どるといふ様な譯け合で、今、本書を講ずるにも、豫じめ其の全體に通ずる觀念や肝要なる文字の意義を意得し解釋するといふことは、研學士大に必要且つ便益の事である。それ故、先づ、緒論として法律學の根本觀念ともいふべき法律及權利の性質分類等に就き少しく詳細に反覆説明する。

### 第一章 法律研究の必要

#### 第二章 法律の觀念

- (一) 法律の必要
- (二) 法律の性質
- (三) 法律の種別
  - (1) 強行法と任意法
  - (2) 公法と私法

### 緒論 法律研究の必要



◎法律は  
何故研究  
するの必  
要ありや  
古昔の世  
の中

古昔の世は、洵に悠長で氣樂で、『日出で、は耕し日入りては息ふ、帝力我に於て何かあらん』など歌ふて、それで社會の安寧は保たれ、夕顔棚の下涼みの裡にも圓満なる家庭は作られて居た。米作くる事、蠶飼する事、商ふ事のみ知つて居れば、それで安全の生活が出来たのである。斯る單純の世の中には、別に六ヶ敷い法律の研究などは左程必要はない。然るに今日の世は、交通益々頻繁となり制度は愈々複雑

緒論

- 第三章 權利の觀念
- (一) 權利の起源及性質
- (二) 權利の種別
- (1) 公權と私權
- (2) 私權の種別
- (3) 普通法と特別法
- (4) 主法と助法
- 第四章 民法の性質及規定

## 第一章 法律研究の必要

となり、人間亦た機敏狡猾と爲りて、なか／＼『田の畔を遡りて争はず路に遺ちたるを拾はず』といふ様な君子や、『人我を害するも、我人を害せず、人若し右の頬を打たば左の頬を轉らして打たしむ』といふ如き善人は太だ尠ない。稍々ともすれば無理難題を言ひ懸けて、道理なきに道理を附け、權利なきに權利あるを装ひ、人を欺瞞し、人を詐欺して迄も、自己の營利を逞ふせんとする者が多い。斯の如く鋭い劇しい世の中に在りて、自己の財産名譽を維持し生活の安全發達を計ふと思ふ者は夫れ／＼其時勢に連れての智識が必要である。就中、法律は權利の所在を規定するもので、如何なる場合に如何なる權利義務あるかを定めたる國の掟なれば、若し之を知らざるに於ては、或は測らざる災害に遭ひ、或は思はざる損失を起こし、到底名譽の維持や生活の安全は保たれないのである。

緒論 法律研究の必要



△人は法  
律を知る  
の義務あ  
り法律の  
不知を以  
て抗辯と  
なすこと  
を得ず  
(格言)

○自己の  
知らざる  
に犯罪人  
となるこ  
とありや

昔の國法は、『依らしむ可し知らしむ可からず』と云ふ方針であつた故  
官吏即ち御役人様のみ知り居れば、一般人民は之を知るの必要は左程  
なかつたのであるが、今日は、『法は知らしむ可し依らしむ可し』とい  
ふ主義を採るものなれば、其國に在る者は何人たるを問はず之を知ら  
ねばならない義務がある。

それ故に、實際に法律ありし事を知らずして爲したる行爲が、國家の目よりは之を知り  
て爲したるものと看做され、(人は法律の不知を以て)己れの知らざるに其行爲が犯罪と  
なり身は思はしき犯罪人とさるゝことがある。例へば朋友より委託せられたる金員を一  
時流用のため無斷に費用したる時は、自分は假令、罪となると思はずして爲したる事  
なりと雖ども、國家は之れに刑法第二百五十二條の規定を適用して之れを横領の罪に問ひ  
所定の刑罰を科するのである。又た雇人若くは職工が主人の命令に従ひ、私かに紙幣の  
偽造を手傳ひたる時はたとひ自分等は手傳ひのこと故に罪とならずと思ひ爲したる事なれ  
ども、國家は同様に之れを通貨偽造の罪人なりとするのである。

○自己の  
知らざる  
に犯罪人  
となるこ  
とありや  
消滅する  
ことあり  
や  
△權利の  
上に眠む  
るものを  
保護せし  
む  
(格言)

法律を知  
らざる結  
果

又法律の格言に『權利の上に眠むるものは之を保護せず』といふ語があるが、之れは、  
自分が權利が有りながら之を主張すべきに主張せざる時は、法律は其權利を抛棄し其利  
益を捨てたるものと看做して、其權利者を保護しないといふ事である。夫れ故若し其法  
律あるを知らざる時は思はざる損失を招くに至る、例へば、自分が或人に貸金をなした  
るに、其人平生資産に富み且つ充分なる抵當を取置きたれば、安心して、十年間一回の  
督促もせず打捨て置きたるに、其後必要の事ありて請求に及びしに、既に權利は消滅し  
折角擔保に取置きたる抵當も何等の效なきに至る。是れは民法第六十七條時効の規定  
あるを知らざる故に斯る意外の損失を招いたのである。

斯の如く法律を知らざる結果は、或は思はざるに犯罪人となりて身は  
鐵窓の下に繋がれて苛責の苦みを受るのみならず罪なき妻子に歎きを  
かけ傷なき家名は汚がれ而して社會よりは爪弾きされて擯斥せらるゝ  
に至り、或は人より非理不法を主張せられても自己に如何なる權利義  
務あるかを知らず無理難題を言ひ懸けられても、之れに對する防禦の

緒論 法律研究の必要



法律を知る者  
らざる者  
は昆蟲動  
物にも劣  
る愚物な  
り

方法は明かならず、畢竟、人に愚弄せられ瞞着せられ、多年自己が、粒々辛苦の油汗を以て得たる財産は奪はれ、先祖傳來の家寶たる田畑は、人手に渡り自分は悲しくも口惜しくも、泣き寢入の悲境に陥らねばならぬ、勢ひ、生存競争といふ凄まじい嵐の爲めに、社會の一隅に吹き倒されて、一生哀はれな生活を送らねばならぬ様になる。

昔の武士や商人や農民等は、己の生命財産を賭しても、血の雨を降らしても自己の體面を保ち家名を重じ水論に花を咲かしたのである。今日は、血の雨を降らさずとも財産を捨てずとも生命を賭せずとも、法律の保護に依り正々堂々として主張ができ自己の體面を維持する事が出来る。然るに之を修めず之を知らず、人より侵害せられて屈辱したり、妄に威喝せられて尻込したりして、おづ／＼人の後に立つ如きは實に意氣地の無い事で人間たる者の愧とせればならぬ所である。蜂や蜘蛛の如き蟲でさへ自身の侵害を防衛すべき利器と方法とを持ちて居る。然るに人間たる者が自己の名譽財産を保護すべき道を知らずといふは、蜂や蜘蛛の如き昆蟲動物にも劣れる愚物と言はねばならない。若し吾々が

法律研究  
の必要

斯の如く權利思想に乏しく徒に屈辱非禮を受けて之に反抗する氣概なきに至る時は、勢ひ國家の元氣は衰弱し、國權の伸張も出来ない様になる。夫れ故、法律を研究し各人權利の所在を明にして、主張すべき權利は主張し盡すべき義務は盡し、以て、自家の利益を圖ると共に國家公共の元氣を振策し安寧秩序を維持せねばならぬ。  
之を要するに、法律の研究は、常に各人が自己の財産自由を保護し生活の安全發達を計り社會に勇躍活動する上に於て緊要なるのみならず國民權利思想を養成し、國家の元氣を保持する上に於て缺くべからざる國民的義務である。

## 第一章 法律の觀念

### 第一節 法律の必要

若しも、世の中が聖人や君子や善人ばかりの集合なれば、古昔、堯舜

◎何故に  
法律は必  
要ありや



の世の如く、『道に遺ちたるを拾はず人は皆畔を遜る』といふ様に、安泰に治まりて帝力即ち天皇の何處にあるかを知らない位で、人々皆な分に重じ道を重じ少しも争訟悶着は起らない。夫れ故、別に法律といふ様なものゝ必要はないが、今日の社會はナカ／＼複雑で、善人もあれば悪人もあり、君子もあれば小人もある。否、寧ろ善人君子は稀に看る所で小人や悪人のみが多いので、毎日の出來事も、殺人、強盜、強姦、放火の如き口にするも忌はしき大悪は行はれ、窃盜、詐欺、賭博、義務不履行等の小悪は數ふるに遑ない程である。斯かる世の中は、道德や宗教のみでは到底治まらない、そこで、國力といふ何人も抵抗の出來ない強い力で法律を設け、世に害毒を流す悪人ばら捕へて、或は牢獄に入れ或は義務の履行を命じ、以て社會の安寧秩序及び各人の財産自由を保護するのである。

八

要するに、法律は社會の安寧秩序を保ち、人の財産身體を護る爲め必要不可欠からざるものである。而して世が進歩發達するに連れ、社會が益々複雑になるに従ひ、法律制度の益々稠密複雑となるは勢ひ免がれざる事である。

## 第二節 法律の性質

法律とは何ぞ、法律とは法律なり、法律といふ名を以て天皇が裁可して公布せられたる國家の命令である。例へば、民法、商法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法、法例、警察法、裁判所構成法、會計法、行政執行法、出版法、著作権法、市町村制等は皆法律である。國家の命令とは、國家の意思で、國家が社會の安寧秩序を維持し各人の財産自由を保護して安全の生活を爲さしむる爲め、豫じめ一定の規則を設けて人

◎法律とは如何なるものなるや